

令和5年度実施分
協働事業・市民活動助成事業 報告書

～目次～			協働事業	市民活動助成事業	
ページ	事業名	団体名、事業担当課名		スタート	アッパ
p1	地域まるごとで孤育を予防する連携システム事業	まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課	○		
p11	不登校の子どもたちの居場所づくり事業	NPO法人EdFuture		○	
p19	料理教室を通じた父親の意識改革事業	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課	○		
p29	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業	認定NPO法人外国人の子どものための勉強会 国際推進課	○		
p41	冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会			○
p49	町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業	できる街プロジェクト 市民自治課	○		
p59	松戸市内廃棄食糧再利用事業	おからを食べよう会		○	
p65	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム			○
p73	「おひとりさま安心生活相談」事業	特定非営利活動法人 おひとりさま安心コンシェルジュ		○	
p79	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会		○	
p87	[生きづらさ・ひきこもり]一人ひとりに合わせてつながりが広がる事業	生きづらわーほりプロジェクト			○
p95	ときわだいらオープンアトリエ事業	特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター			○
p103	「まつどの介護」プロモーション事業	特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課	○		
p113	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業	まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 市政総合研究室	○		

令和5年度実施分 市民活動助成事業・協働事業一覧

●協働事業

No.	区分	事業名・団体名・担当課	予算額		決算額		ページ
			総事業費	負担金申請額	総事業費	負担金確定額	
1	2年目	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会 国際推進課	¥811,720	¥500,000	¥1,024,727	¥500,000	P29
2	2年目	地域まるごとで孤育を予防する連携システム事業 まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課	¥372,000	¥334,000	¥333,919	¥299,000	P1
3	3年目	「まつどの介護」プロモーション事業 特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課	¥298,400	¥268,560	¥204,436	¥183,992	P103
4	2年目	町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業 できる街プロジェクト 市民自治課	¥641,130	¥500,000	¥611,280	¥500,000	P49
5	3年目	料理教室を通じた父親の意識改革事業 MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課	¥542,080	¥458,388	¥706,870	¥458,388	P19
6	新規	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業 まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 市政総合研究室	¥378,190	¥319,041	¥91,400	¥82,260	P113

■スタート助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	新規	不登校の子どもたちの居場所づくり事業 NPO法人EdFuture	¥234,294	¥100,000	¥50,702	¥45,631	P11
2	新規	「おひとりさま安心生活相談」事業 特定非営利活動法人 おひとりさま安心コンシェルジュ	¥151,920	¥100,000	¥33,520	¥15,075	P73
3	新規	松戸市内廃棄食糧再利用事業 おからを食べよう会	¥203,120	¥100,000	¥146,659	¥100,000	P59
4	2年目	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業 小金原みんなでわくわくする会	¥160,000	¥100,000	¥118,384	¥100,000	P79

■ステップアップ助成

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	2年目	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業 エディブルウェイプロジェクトチーム	¥388,200	¥300,000	¥384,666	¥300,000	P65
2	2年目	ときわだいらオープンアトリエ事業 特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター	¥568,500	¥300,000	¥488,816	¥300,000	P95
3	2年目	[生きづらさ・ひきこもり]一人ひとりに合わせてつながりが広がる事業 生きづらわーほりプロジェクト	¥393,340	¥300,000	¥332,675	¥254,047	P87
4	2年目	冒険山開放に伴う見守り事業 冒険山開放委員会	¥253,460	¥210,114	¥176,589	¥139,881	P41

地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業

まっどでつながるプロジェクト運営協議会

子ども政策課

活動状況報告書

1 事業名称 地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業

2 実施主体

■団体名： まつどでつながるプロジェクト運営協議会

従事者数： 5名

団体概要： 公的支援が届きづらい、制度からこぼれ落ちてしまいがちな子育て家庭が身近な地域やサポートにつながる、抱え込まず「助けて」と声をあげられるよう地域全体で温かく迎え入れられる環境を作り、「孤立する子育てを防ぐ」ことを目的として様々な事業に取り組んでいます。

■事業担当課： 子ども政策課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・事業内容の企画立案、運営実施における全般
- ・講師への依頼、実施における調整
- ・主に民間で子育て支援に関わる方やその他参加者への声掛け、調整

■担当課の役割

- ・事業内容に対する行政機関としてのフィードバック、庁内の各課との調整、出席依頼
- ・市のホームページや広報まつどなどによる行政としての広報活動
- ・公共施設利用にあたっての調整

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

① 子育て当事者の声を真ん中にした地域円卓会議の実施

※以下、内部…まつどでつながるプロジェクト運営協議会にて実施

2者…子ども政策課およびまつどでつながるプロジェクト運営協議会にて実施

日付	作業内容
4月14日	年間の事業計画の打ち合わせ（2者）
5月22日	第1回円卓会議についての検討、打ち合わせ（2者）
6月15日	第1回円卓会議に向けての準備（内部）
6月29日	第1回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）

6月30日	第1回円卓会議に向けての参加者への声掛け・連絡（内部）
7月14日	第1回円卓会議の開催（2者） 参加者50名 テーマ「乳幼児期における子育ての孤立」
7月19日	第1回円卓会議のふりかえり（2者）
8月18日	第1回検討ワークショップに向けての検討、打ち合わせ（2者）
9月4日	第1回検討ワークショップの開催（2者） 23名 テーマ「気になる子育て家庭に対してできること」
9月8日	第2回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
9月15日	第2回円卓会議に向けての参加者への声掛け・連絡（内部）
10月2日	第2回円卓会議の準備（内部）
10月6日	第2回円卓会議の開催（2者） 参加者45名 テーマ「児童期における子どもを取り巻く孤立」
10月17日	第2回円卓会議のふりかえり（2者）
10月24日	第2回円卓会議のレポート作成およびホームページへの掲載
11月13日	第3回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
11月17日	第3回円卓会議に向けての共催者との打ち合わせ（内部）
11月21日	第3回円卓会議に向けての参加者への声掛け・連絡（内部）
12月1日	第3回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
12月15日	第3回円卓会議の開催（2者） 参加者50名 テーマ「青年期における若者の孤立」
1月9日	第3回円卓会議のふりかえり（内部）
1月10日	第3回円卓会議のふりかえり、第2回・第3回検討ワークショップの開催についての打ち合わせ（2者）
1月13日	第3回円卓会議のレポート作成およびホームページへの掲載
2月5日	第2回検討ワークショップの開催 参加者25名 テーマ「つながりづらい子ども（取り巻く家庭）について、課題の共有とできることを考える」
2月16日	第3回検討ワークショップの開催 参加者17名 テーマ「支援者間の連携を高めるためにできること」
2月24日	第2回検討ワークショップのレポート作成およびホームページへの掲載

②地域の孤育てを予防する子育て市民サポーター養成講座の仕組みづくり

日 付	作 業 内 容
4月29日	第1期修了生の方にボランティアマッチングの案内を送付および調整
7月10日	講演会および養成講座に向けた検討（内部）
8月7日	講演会および養成講座に向けた検討（内部）
9月7日	講師との打ち合わせ（内部）
9月8日	市の広報掲載依頼（10月15日号）
9月8日	講演会および養成講座の内容検討、打ち合わせ（2者）
10月20日	講演会および養成講座に向けた準備（内部） チラシ・テキストのデザインの依頼、打ち合わせ
10月17日	講演会および養成講座の内容検討、打ち合わせ（2者）
10月26日	参加者募集のためのチラシ印刷、ホームページ・Facebook・インスタグラムでの広報（内部）
11月6日	講演会実施のための準備（内部）
11月20日	養成講座講師との打ち合わせ（内部）
11月25日	講演会の実施 参加者 22名 講師 奥山千鶴子氏（NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長）
12月1日	講演会のふりかえり、養成講座の打ち合わせ（2者）
12月3日	講演会のレポート作成およびホームページでの掲載
12月4日	第1回養成講座の実施（2者） 参加者 16名 講師 石川静枝氏、山田美和氏（当会マネージャー・代表）
12月12日	第1回養成講座のふりかえり、第2回の打ち合わせ（2者）
12月18日	第2回養成講座の実施、第3回の打ち合わせ（2者） 参加者 13名 進行 野際里枝氏
1月15日	第3回養成講座の実施（2者） 参加者 14名 進行 野際里枝氏
1月17日	養成講座のレポートおよびホームページへの掲載
2月2日	追加日程についての参加者への連絡、調整（内部）
2月16日	養成講座のふりかえり、追加日程の打ち合わせ（2者）
3月6日	追加日程の実施（2者） 参加者 8名 今後のまつドリ応援隊でどのような活動を行っていくかの検討
3月19日	1年間のふりかえり（2者）

(2) 事業内容のふりかえり

事業計画に記載した内容は全て実施することができました。またスケジュールも概ね予定していた通りに実施しました。今年度は外部のレポーターに協力を依頼し、第2回円卓会議から開催の様子を分かりやすくまとめたものをホームページに掲載することができました。予算執行に関しては、オンライン対応などが無くなったため郵送費などは発生しませんでした。会場費についても全て公共施設の公用として確保したため発生していません。また担当課・市民自治課とも相談の上で、市民サポーター養成講座の受講生に対して、街中で存在を知ってもらうためのキーホルダーを作成した点が変更点になります。

<以下、2事業についての詳細>

●地域円卓会議

…3回ともに50名近い人数の参加者が集まり、それぞれ関係性を深めることができた。第1回では「つながりづらい当事者についての検討、関係性づくり」「異なる立場・価値観の人・組織と関係性づくり」といったことについて話し合わせ、さらに検討ワークショップの中で連携促進のための支援者マップの作成や架空のケース会議の実施、組織の垣根を超えたコミュニケーションツール、支援者のあり方を考え直し、価値観の相互理解につながる交流会・学習会の開催など、アイデアが出されました。第2回では「つながりづらい子ども（取り巻く家庭）」について話し、特に不登校に関わる難しさが多く話され、検討ワークショップには市のスクールソーシャルワーカーが6名参加し、「行政・民間のできることを持ち寄って考える～居場所の事例共有、多様性を受け止めるノウハウ、情報発信について～」というテーマで情報交換をすることができました。第3回では「松戸市子ども・若者の支援を考える会実行委員会」との連携で開催し、切れ目のない若者支援をテーマとして多数の参加が得られました。

●市民サポーター養成講座

…街のいたる場面で子育てをあたたく見守る市民を増やすことを目的として、講演会および連続講座を開催しました。講演会では横浜を中心に親子の居場所事業の運営に携わってきた奥山氏にお越しいただき、立ち上げ時の経緯や最近の子育て環境、子育て世代における課題となっていることについてお話を聞いていきました。参加人数については目標の50名までは到達することができず、22名の参加でした。その後の連続講座についても定員の20名まではいかず、17名に参加していただきました。今期はグラフィックレコーディングという手法で、講座内容を分かりやすく可視化することに取り組み、各回に張り出すことで欠席する方も前回の様子をつかむことができ、また市のホームページでも公開しています。講座が終了した後の話し合いの場では、第1期にも参加した方々も数名参加し、具体的な活動の方向性について話し合うことができました。また活動の場とのマッチングについては、第1期の方々に年度当初にボランティアの紹介を行い、市主催の「松戸子育てフェスティバル」において2名が参加、また当団体の活動において2名が継続的に居場所でのボランティアに参加していただいています。

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

① 地域円卓会議について…開催回数としては円卓会議および検討ワークショップともに3回ずつ開催しました。参加者人数としては延べ145名となり、目標としていた80名を大きく越えて参加いただくことができました。また目的としていた、対話から実践につながる事例については、検討ワークショップの中で活動エリアごとにテーブルを設けたことで具体的に連携する糸口が見つかったという声が聞かれた。対話で出されていた今後に向けたアイデアについて、次年度に引き継いで検討していきます。

② 市民サポーター育成について…連続講座の周知も兼ねた目的として行った講演会について目標としていた50名には届かず、22名となりました。周知が不足していた点についてはチラシの配布先や、ポスターの掲示について改善していきたいと思います。また連続講座の参加者人数としては、最終的な修了生が17名となり目標としていた20名には達することができませんでした。目的としている地域での見守りや声掛けを行う市民の育成という観点においては、9割の方が継続して活動したいという回答をしており、今後につながる講座となったと考えています。講座終了後の対話の中で「まつど子育て応援隊」として具体的に活動をしていきたいという意見が出されていたこともあり、継続的に話し合いの場を設けていく予定です。

6 今後の事業展開

① 地域円卓会議について…フラットなつながりを増やす対話の場、さらに具体的な連携や議論を生み出す検討ワークショップの場、それぞれの成果は見えてきているため、今後どのように継続していけるかについて1年間かけて模索していきたい。

② 市民サポーター養成について…2年間実施し、卒業生の中から具体的に活動をしていきたいという声が出てきたことが大きな成果だと考えています。さらに広く参加者を募ると共に、子育て当事者に対しての周知も広く行っていきます。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 301,148	¥ 311,928	¥ ▲10,780	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 18,000	¥ 17,919	¥ 81	団体拠出金
	参加費	¥ 20,000	¥ 17,000	¥ 3,000	参加費1,000円×17名
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 38,000	¥ 34,919	¥ 3,081	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 334,000	¥ 299,000	¥ 35,000	←精算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 372,000	¥ 333,919	¥ 38,081	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 170,000	¥ 174,000	¥ ▲4,000	レポート謝礼 麓氏 25,000円 外部講師謝礼 奥山氏 100,000円 外部講師謝礼 野際氏 45,000円 外部ゲスト謝礼 小田原氏 2,000円 外部ゲスト謝礼 高尾氏 2,000円
	消耗品費	¥ 11,000	¥ 13,039	¥ ▲2,039	プリンター用インク 1セット 6,171円 ワークショップ用付箋 1セット 498円 養成講座キーホルダー 20個 6,370円
	印刷製本費	¥ 35,000	¥ 16,000	¥ 19,000	資料印刷費（円卓会議） 5,900円 チラシ印刷（養成講座） 6,100円 テキスト印刷費（養成講座） 4,000円
	委託料	¥ 130,000	¥ 130,000	¥ 0	デザイン費 養成講座チラシ・テキスト 120,000円 デザイン費 円卓会議資料作成 10,000円
	使用料及び賃借料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	施設を公用予約で使用した為、使用料が不使用となった。
	通信運搬費	¥ 16,000	¥ 0	¥ 16,000	会場にて対面で実施した為、不使用。
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 372,000	¥ 333,039	¥ 38,961	
(その他) 経費	支払手数料		¥ 880	¥ ▲880	220円×4件=880円
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 880	¥ ▲880	
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 372,000	¥ 333,919	¥ 38,081	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 35,000
------------	----------

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 17,919	団体の会計より拠出
	参加費	¥ 17,000	養成講座参加費 (1000円×17名)
	自己資金の合計額	¥ 34,919	
市	松戸市負担金	¥ 299,000	
	合 計 額	¥ 333,919	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 174,000	レポート謝礼 麓氏 (円卓会議・講演会・養成講座など5回×5,000円) =25,000円 外部講師謝礼 奥山氏 (公開講演会1回×100,000円) =100,000円 外部講師謝礼 野際氏 (連続講座3回×15,000円) =45,000円 外部ゲスト謝礼 小田原氏 2,000円 外部ゲスト謝礼 高尾氏 2,000円
	消耗品費	¥ 13,039	プリンター用インク 1セット 6,171円 ワークショップ用付箋 1セット 498円 養成講座キーホルダー 20個 6,370円
	印刷製本費	¥ 16,000	資料印刷費 (円卓会議) 2,400円+3,500円=5,900円 チラシ印刷 (養成講座) 6,100円 テキスト印刷費 (養成講座) 4,000円
	委託料	¥ 130,000	デザイン費 徳永氏 (養成講座チラシ・テキスト) 20,000円+50,000円×2回=120,000円 デザイン費 三木氏 (円卓会議資料作成) 10,000円
	対象経費の合計	¥ 333,039	
その他 経費	支払手数料	¥ 880	220円×4件=880円
	その他経費の合計	¥ 880	
	合 計 額	¥ 333,919	

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×984円
	円卓会議打合せ	15,744 円	2 人 × 1 h × 8 回 × 984 円
	円卓会議準備	23,616 円	2 人 × 4 h × 3 回 × 984 円
	円卓会議本番	35,424 円	3 人 × 4 h × 3 回 × 984 円
	検討ワークショップ準備	17,712 円	2 人 × 3 h × 3 回 × 984 円
	検討ワークショップ実施	26,568 円	3 人 × 3 h × 3 回 × 984 円
	円卓会議ふりかえり	26,568 円	3 人 × 3 h × 3 回 × 984 円
	養成講座打合せ	23,616 円	2 人 × 1.5 h × 8 回 × 984 円
	養成講座準備	39,360 円	2 人 × 4 h × 5 回 × 984 円
	養成講座本番	59,040 円	3 人 × 4 h × 5 回 × 984 円
	養成講座ふりかえり	44,280 円	3 人 × 3 h × 5 回 × 984 円
合 計 (A)	311,928 円		

不登校の子どもたちの居場所づくり事業

NPO 法人 EdFuture

活動状況報告書

1 事業名称 不登校の子どもたちの居場所づくり事業

2 実施主体

■団体名： NPO 法人 EdFuture

従事者数： 13人

団体概要：当団体は、すべての子どもの未来のための主体的な学びと自律的な成長を支援する教育機会の提供ならびに運営を中心とし、子どもを教える立場の大人たちの研修等の生涯教育や、子どもたちの学びの場を含むまちづくり等に係る事業を行い、豊かで充実した社会づくりに寄与することを目的とする。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①居場所づくり

場所：根木内会館 日時：日曜日 10～14時 人員体制：2～4人

内容：子どもたちの居場所を開き、学習支援など子どもにあった活動を行う。

日 付	作 業 内 容
4月9日、16日、23日、30日	4月居場所開館
5月14日、21日、28日	5月居場所開館
6月11日、18日、25日	6月居場所開館
7月9日、16日、30日	7月居場所開館
8月6日、20日	8月居場所開館 調理実習（かき氷） かき氷機を使い、利用者が自分で氷を削ってシロップを作る体験を実施した。
9月3日、10日、24日	9月居場所開館
10月1日、22日、29日	10月居場所開館
11月5日、12日、26日	11月居場所開館
12月10日、17日	12月居場所開館
12月26日	調理実習（パンケーキ） ホットプレートでパンケーキを焼き、自分流に味付けをする体験を実施した。
1月14日、21日	1月居場所開館
2月4日、11日	2月居場所開館
2月25日	「手話で話そう」イベント 不登校の子どもに多様性を触れる機会を設けることを目的とし、手話を教えてくださる講師の方を招き、子どもたちへ手話の体験を行った。
3月3日、10日	3月居場所開館

②オンラインでの居場所

8月より①の開催に合わせ Zoom を使用し、家から出ることができない子どもたちと根木内会館からオンラインでつながり、学習支援やコミュニケーションを図る。

8月29日	Zoom 利用開始
-------	-----------

③評価 RSES-J の実施

保護者に同意を取ったのち、利用者（対象者）へ RSES-J のアンケートを実施し、1年間を通して自己肯定感が上がったか評価を行う予定であったが、継続しての利用者がいなかったため、実施できなかった。そのため、評価方法を RSES-J から来館人数とアンケートの方法へ変更した。

④周知

4月1日	根木内町会の掲示板にチラシの掲示
4月1日	市内の精神科のクリニックにチラシの配布を依頼
8月18日	市役所にチラシ配布

(2)事業内容のふりかえり

①1年間を通し、不登校の子どもと家族、不登校でない子どもの居場所として活動を展開し、延べ29名と市内の大学生ボランティア7名が参加した。不登校の子どもにとって、初めての場所に行く心理的ハードルが高く、不登校の子は来れず親のみで来館し、悩みを吐露することもあった。また、不登校を経験したという学生や社会人が来館することもあり、子どもだけでなく、大人の居場所としても場が活用された。

また、会場となる根木内会館を使用できない日があった等の理由から、当初の計画よりも実施回数が減り、それに伴って外部の学習支援指導員の謝礼が減るなど予算の変更があった。

不登校の子どもや家族により気軽に居場所へ来てもらうために、調理実習イベント、手話を学ぶイベントなどを開催した。調理実習イベントは、8月の猛暑日が続いている日であったため、市民センターへの移動時の暑さを考慮し、そして猛暑日でも楽しめる調理とする目的でかき氷とした。実施すると、不登校の子どもが来館し、大学生のボランティアとかき氷を作る姿があった。一緒にかき氷を作るという作業をすることで、自然と会話が生まれ、大学生たちと関わっていた。会場は普段開催している根木内会館で実施したため、市民センターの使用料はかからなかった。10月にハロウィン会は利用者がいなかったため開催しなかったが、12月はクリスマス会としてパンケーキ作りを予定通り実施した。参加者へ提供する飲料を購入したため、食糧費として計上した。

手話のイベントは、より不登校の子どもが外に出るきっかけをつくること、そして不登校の子どもに多様性を触れる機会を設ける目的で、新たに企画し開催する運びとなった。根木内開館近くで開催している手話のサークルと協力し、手話を教えてくださる講師の方を招き、子どもたちへ手話の体験を行った。

②オンライン（Zoom）は当初、希望者がいなかったため、8月から活用した。オンラインでは、Zoomのほかに公式LINEを使用して子どもから直接相談を受け取れる体制も整えると、子どもから学校生活での悩みの相談が寄せられた。不登校となっていなくても、悩みを抱えながら学校生活を送る子どもがいることにも気づかされ、オンラインでの居場所の整備の必要性も感じられた。利用者からは、相談後に「相談に乗って下さりありがとうございます。ちょっと〇〇してみようと思います。」とあり、話を聞くことで相談者が自ら次の行動を移そうとする言葉が聞かれた。

③事業の評価として RSES-J を実施する予定であったが、継続して居場所を利用する子どもがいなかったため、前後の比較ができず、実施できなかった。そのため、評価方法を RSES-J から来館人数とアンケートの方法へ変更した。

④会場がある根木内町会にチラシの掲示を依頼した。また、市内の精神科クリニックやスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを通し、対象となりそうな方へチラシの配布を依頼した。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

【目標】：利用者は各回対面で10名、オンラインで5名を目標とする。

根木内の公民館を借りて、年間を通して30回以上居場所を開くことができた。通常の居場所では0~3人/回の来館、オンラインでは0~1人の利用があり、手話のイベント時は子どもと大人をあわせて10名以上の利用者がいた。延べ29名が居場所に参加した。

大学生ボランティアや、不登校支援に興味のある方、保護者と繋がりコミュニティができた。チラシやSNSの広報を通じて、市外や県外の人に参加してくれることも多かった。

【目標】：子どもたちが社会的自立するためのエネルギーとなる「自尊感情」がどれほど上昇したかによって評価を行う。評価は、各対象者のRSES-J（自尊感情尺度）が初期評価（通い始めた時期）と比べ、最終評価（3月）で上昇することを目指す。

継続の利用者がいなかったため、評価方法をRSES-Jから来館人数とアンケートの方法へ変更した。利用の子どもの保護者からは「笑顔で暖かく迎えていただいたお陰で、楽しく遊べたようでした！」と感想があった。手話を学ぶ会を開催した際は、参加した子どもから「歌を手話でひょうげんするのが楽しい。」という感想があった。普段家に籠っていて、社会や地域コミュニティと繋がりがなくなってしまう不登校の子どもたちにとって、家の外のコミュニティと繋がる機会になった。

課題として見えてきたことは、不登校の子どもにとって「家の外の知らない場所に行く」というハードルがとても高いことである。少しでもハードルを下げるために、様々な楽しいアクティビティや心理的安全性が確保できる環境ができるように最大限努力したが、それでも外に出てくるのが難しい子どももいた。そのような子どもには、まずはオンラインで繋がり、信頼関係を作る又は家族を通して繋がりをもつことが重要である。また、不登校の子どもが興味を抱きやすいようなイベントやアクティビティを、ヒアリングを重ねながら今後企画していくことが求められると感じた。

5 今後の事業展開

今回の事業を通して今後に活かし取り組んでいきたいことは大きく4つある。

(1) アクセスを考えて居場所を再考

今回、事業を展開して来館した不登校の子どもや家族は、市内在住の方よりも市外から来られる方が多かった。学校に行けていない罪悪感により、近隣の施設は通いづらいことが考えられ、今後は市内でもより多くの方がアクセスしやすい場所で開館していく。

(2) 不登校家族へのケア

今回の事業を通して、不登校の子どもだけでなくその家族の悩みもとても深刻であり、家族へのサポートの必要性を強く感じた。子どもが不登校になった時に、どう家族が対応すれば良いか、家族のメンタルケア、家族へのリソース支援なども積極的に行っていきたいと思う。

(3) 不登校の早期対応と予防

長期化した不登校の対応は非常に困難になるため、できるだけ早い段階での発見と予防することが大事であることを痛感した。不登校になり始めの学校行き渋りの段階で、適切な

ケアをすることで長期化になることを防げる可能性が高いので、早期発見や予防の情報発信などの方法を考えたい。

(4) 不登校元経験者のコミュニティ

不登校を経験した当事者が当時のことを振り返ることで、現在不登校である人へのサポートができる。また、それと同時に不登校経験者へのケアの必要性も感じられた。不登校経験者が繋がり、似た境遇を共有しながらお互いに助け合い、それを他の人たちに貢献するサイクルができれば良い。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	寄付金	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	
	団体拠出金	¥ 84,294	¥ 5,071	¥ 79,223	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 134,294	¥ 5,071	¥ 129,223	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 45,631	¥ 54,369	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 234,294	¥ 50,702	¥ 183,592	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	¥ 17,000	¥ 83,000	外部の学習支援指導員への謝礼 1000円×17回
	通信運搬費	¥ 90,984	¥ 16,366	¥ 74,618	Zoom月額利用料2,338円×7カ月
	印刷製本費	¥ 2,990	¥ 2,948	¥ 42	チラシ印刷 300部
	消耗品費	¥ 9,000	¥ 4,500	¥ 4,500	調理実習食材
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	教材を購入しなかったため不計上
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 9,420	¥ 580	ボードゲーム5点
	使用料及び賃借料	¥ 1,320	¥ 0	¥ 1,320	使用料が発生しない施設(根木内会館)で料理教室を実施したため不計上
	食糧費	¥ 0	¥ 468	¥ ▲468	クリスマス会 飲料代
		対象経費の合計 (D)	¥ 234,294	¥ 50,702	¥ 183,592
(その他経費)				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
		その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 0	¥ 0
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 234,294	¥ 50,702	¥ 183,592	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 54,369
------------	----------

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 5,071	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 5,071	
市	市民活動助成金	¥ 45,631	
	合 計 額	¥ 50,702	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 17,000	外部の学習支援指導員謝礼 橋本佐奈江氏1,000円×17回
	通信運搬費	¥ 16,366	Zoom月額利用料 2,338円×7ヵ月
	印刷製本費	¥ 2,948	チラシ印刷 300部
	消耗品費	¥ 4,500	調理実習食材 8月分 604円、12月分 3,896円
	消耗品費	¥ 9,420	ボードゲーム5点 (2,750円、1,500円、1,980円、1,760円、1,430円)
	食糧費	¥ 468	クリスマス会飲料代(ジュース3点)
	対象経費の合計	¥ 50,702	
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合 計 額	¥ 50,702	

料理教室を通じた父親の意識改革事業

MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel
メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル

男女共同参画課

活動状況報告書

1 事業名称 料理教室を通じた父親の意識改革事業

2 実施主体

■団体名： MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel
メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル

従事者数： 10名

団体概要：2018年11月より、料理教室を通して、ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝える活動をしています。

■事業担当課： 男女共同参画課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・調理イベント（2.5時間）＋ワークショップ（30分）のプログラム組み立て
- ・レシピの作成や試作、材料の選定・調達、広報用チラシ・ポスター作成
- ・イベント当日は、調理レクチャーとサポート

■担当課の役割

- ・ワークショップ講師の選定・依頼、内容の調整。
- ・広報まつど、市ホームページでの周知等の広報活動。
- ・イベント当日の司会進行

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

- ①講座企画打ち合わせ
 - ②チラシの企画及び作成、チラシの印刷・市の広報掲載依頼
 - ③チラシのPR活動
 - ④講座準備レシピ作成・試作
 - ⑤講座開催
 - ⑥講座振り返り・反省会
- ①～⑥の内容を下記の日程で実施しました。

日 付	作 業 内 容
4月3日	講座企画打ち合わせ
4月10日	チラシの企画及び作成
4月17日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（5月15日号）
～5月15日	チラシのPR活動
5月14日	講座準備（レシピ作成）市民会館料理教室
5月28日	講座準備（試作）市民会館料理教室
6月11日	第1回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏 笹川氏 参加者14組30名
	第1回講座振り返り・反省会
6月17日	講座企画打ち合わせ
6月24日	講座準備（レシピ作成）
7月10日	チラシの企画及び作成
7月17日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（8月15日号）
～8月15日	チラシのPR活動
8月26日	講座準備（試作）
9月9日	第2回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏 黒田氏 参加者14組29名
	第2回講座振り返り・反省会
10月4日	講座企画打ち合わせ
10月10日	チラシの企画及び作成
10月15日	講座準備（レシピ作成）
10月16日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（11月1日号）
～11月1日	チラシのPR活動
11月13日	講座準備（試作）
11月23日	講座準備（レシピ作成）市民会館料理教室

11月25日	講座準備（レシピ作成）市民会館料理教室
11月26日	第3回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏 坂口氏 参加者 14組 29名
	第3回講座振り返り・反省会
12月10日	講座企画打ち合わせ
12月24日	講座準備（レシピ作成）市民会館料理教室
1月16日	チラシの企画及び作成
	市の広報掲載依頼（2月1日号）
～2月1日	チラシのPR活動
2月12日	講座準備（試作）市民会館料理教室
2月24日	講座準備（試作）市民会館料理教室
3月9日	第4回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏 煎澤氏 参加者 13組 32名
3月9日	第4回講座振り返り・反省会
	報告書作成・本年度反省会
～3月18日	

(2) 事業内容のふりかえり

<ul style="list-style-type: none"> ・計画した事業内容を全て行い、計画通り4回行いました。 ・会場使用料の増加 昨年度は会場の空きが多く、容易に確保できましたが、今年度は感染症の影響が軽減し、他団体の会場の利用が増えたため、会場の空きがなく、予約が困難となりました。 担当課・講師との開催日時の調整を行った結果、別途レシピ作成や試作準備の会場利用も空きがない状況でした。そのため、講座開催を想定して仮押さえした日時の予約をそのまま確保することとなり、レシピ作成や試作の会場利用時間が計画よりも長くなりました。 ・食物アレルギーの方への対応 参加者の食物アレルギーと要望に対応するために、卵、ナッツ、ゼラチン不使用のメニューを追加し、会場の機器入れ替え（ガスコンベクションオーブンから家庭用サイズの電気オーブンになり、火力・天板サイズ変更）に伴いレシピ作成を再度行いました。 ・イベント終了後の振り返りと、次に向けた改善点について 1. 進行の改善：参加者からのフィードバックをもとに、イベントの進行に関する改善点

を検討しました。調理の手順やレシピの説明がわかりやすくなるように、より詳細な指示やデモンストレーションを行うようにしました。

2. アレルギー対応の強化:参加者からの要望を受けて、食物アレルギーに対する配慮を強化することを検討し、アレルギーを持つ参加者に対応したメニューや調理方法の提供をより効果的に行うための取り組みをしました。

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

目標①料理イベントを年4回開催し、各回10～15組、20～35名を集客します。

・参加費有料（材料費として¥1,000）での開催を試験的に行いましたが、4回開催とも定員を超える申込があり、関心を持っていただけました。

・各回10～15組20～30名の参加者目標については、各回15組（第1回のみ12組）で開催し、ほぼ達成しました。

目標： 全4回で参加人数50組100名

結果： 55組 120名

目標②父親の男女共同参画への理解と、家事・育児に関する意識を高めます。

・ワークショップでは家庭での父親の役割についての意見交換を通して、男女は対等なパートナーであることの理解促進をし、アンケート結果により、家事・育児に関する考え方の変化がみられました。

アンケート結果：

イベントに参加されて子育てや家事についての考え方に変化はありましたか。

（複数回答）

①家事・育児に積極的に参加したいと思った 14 (29.8%)

②父親の役割について考えるきっかけになった 19 (40.4%)

③父親の交流に興味をもった 6 (12.8%)

④特にない（変わらない） 8 (17%)

考え方の変化は合計47回答中の39回答(82.9%)

目標③父親と子どもに、ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝え、参加者は、家庭でもおやつや軽食が作れるようになります。

イベントについて、ご感想やご意見

・娘にも作れるよう丁寧な説明で、上手につくることができました。

とのご意見を頂きました。

他、アンケート回答。

- ・良い体験をさせていただきありがとうございました。
- ・とても満足しています。講師の方はもちろんですが、スタッフの方にも準備等サポートして頂き感謝申し上げます。
- ・また参加したいです。2回目の参加ですが、楽しかったです。
- ・親子で参加できて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・貴重な機会を提供頂き、親子共々感謝しております。ありがとうございました。
- ・スイーツ作りもワークショップもとても楽しかったです。
- ・子どもと母 共有すること 子育てについて考える良い機会でした。
- ・大変良いイベントでした。
- ・毎回楽しみにしています。今後もぜひ継続してください。参加費有料となりましたが、この程度であれば気になりませんでした。
- ・子供たちが、自分で料理をしている姿を見られて良かったです。
- ・いつも楽しみにしております。ありがとうございました。

ご家族からのメール：

- ・パパと子どもが行っている間、久々にひとりの時間をいただき、至福の時間でした。
- ・パパと娘たちが作った生チョコとクッキーをみんなで美味しくいただきました！
- ・よくある、お菓子教室では一種類を数個できればよい方かと思うところ、2、3種類のお菓子をたくさん作ることができて、そのひとつ、ひとつも味のレベルが高くて、驚いていただいています。
- ・想像を超える出来栄えに、どれを作ったの！？と確認してしまいました。全部、本人たちが作ったと聞き、また食べたときの美味しさに驚きました。

目標④男性の家事・育児への心象的なハードルを下げる。

調理を通して父と子の関係が深まり、家庭に持ち帰って家族で食べる事で、父親の家庭参加のきっかけづくりができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げることができました。

6 今後の事業展開

- ・この料理教室を通じた父親の意識改革事業を、地域の他の団体や学校等と協力してコミュニティプログラムとして拡大していき、地域の親子が参加しやすくします。
 - ・ワークショップを担当していただいたパパサークル団体との協力によって、共同で料理教室を開催し、父親たちがさらに結束し、家事や育児に対する理解を深めます。
- 料理教室を通じて、地域の父親たちが家事や育児に積極的に参加する文化を育んでいきます

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 388,824	¥ 460,512	¥ ▲71,688	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel 団体拠出金	¥ 83,692	¥ 204,482	¥ ▲120,790	事業費の一部を団体の会計より拠出
	材料費	¥ 0	¥ 44,000	¥ ▲44,000	参加者より 1,000円×11組×4回
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 83,692	¥ 248,482	¥ ▲164,790	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 458,388	¥ 458,388	¥ 0	←精算額
	合計額 (D) = (B+C)	¥ 542,080	¥ 706,870	¥ ▲164,790	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	¥ 120,000	¥ 0	外部講師謝礼（ワークショップ） 15,000円×4回×2人
	消耗品費	¥ 268,200	¥ 292,905	¥ ▲24,705	食材 パナラビーンズ、りんご、塩、発酵バター、生クリーム、グラニュー糖、クリームチーズ 他
	消耗品費	¥ 49,760	¥ 139,992	¥ ▲90,232	資材 ハンドソープ、ラップ、ジップロック、ペーパータオル、食器用洗剤、食品用保存袋、ケーキトレイ 他
	消耗品費	¥ 30,360	¥ 6,065	¥ 24,295	印刷 ※チラシ外注なし コピー用紙 710円 インクカートリッジ 5,355円
	使用料及び賃借料	¥ 33,600	¥ 40,700	¥ ▲7,100	会場使用料（レシピ作成試作、作業確認、共有試作、料理教室） 松戸市民会館 16回 持込器具、マイクロホン、アンブレラ 4回
	通信運搬費	¥ 7,400	¥ 2,850	¥ 4,550	食糧配送費（11回）
		対象経費の合計 (E)	¥ 509,320	¥ 602,512	¥ ▲93,192
（その他）経費	食糧費	¥ 10,000	¥ 16,000	¥ ▲6,000	昼食代 500円×8人×4回
	交通費	¥ 20,000	¥ 37,000	¥ ▲17,000	交通費（2人タクシー以外） 500円×6人×4回×2（往復） 資材食材運搬タクシー代 25,000円（10回×2（往復））
	消耗品費	¥ 0	¥ 34,221	¥ ▲34,221	資材 りんごカッター、トンゴ、缶切、冷蔵庫用温度計、不織布おしぼり、ザル、ボール、ニトリル手袋、ピーカー、計量スプーン 他
	消耗品費	¥ 0	¥ 8,567	¥ ▲8,567	印刷 ※団体の宣伝用
	通信運搬費	¥ 2,760	¥ 8,570	¥ ▲5,810	事務処理用レターパックライト 370円×20枚 ホームページレンタルサーバー年間プラン 1,170円
		その他経費の合計額 (F)	¥ 32,760	¥ 104,358	¥ ▲71,598
	合計額 (G) = (E+F)	¥ 542,080	¥ 706,870	¥ ▲164,790	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T nature! 団体拠出	¥ 204,482	事業費の一部を団体の会計より拠出
	材料費	¥ 44,000	料理教室参加者より 1,000円×11組×4回
	自己資金の合計額	¥ 248,482	
市	松戸市負担金	¥ 458,388	
合計額		¥ 706,870	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 120,000	外部講師謝礼（ワークショップ）15,000円×4回×2人
	消耗品費	¥ 292,905	食材 バニラビーンズホール 2本 795円、りんご 2個 1パック×12個 6,456円、塩 500g 232円、発酵バター無塩 450g×4個 4,968円、生クリーム 38% 1L ×2個 2,592円、グラニュー糖 1kg×3 1,182円、クリームチーズ 200g×16 8,592円 他
	消耗品費	¥ 139,992	資材 ハンドソープ 5個セット 2,190円、ラップ 3本組 990円、ジップロックS 100枚入 611円、ペーパータオル70カット6ロール 1,782円、食器用洗剤詰替用1380ml×2個 1,877円、食品用保存袋M 50枚入 140円、ケーキトレイ 50枚 2,090円 他
	消耗品費	¥ 6,065	印刷 ※チラシ外注なし コピー用紙A4 500枚 710円 インクカートリッジ5色マルチパック 5,355円
	使用料及び賃借料	¥ 40,700	会場使用料（レシピ作成試作、作業確認、共有試作、料理教室） 松戸市民会館 16回 持込器具、マイクロホン、アンプ使用料 4回
	通信運搬費	¥ 2,850	食料配送料（11回）
	対象経費の合計	¥ 602,512	
その他 経費	食糧費	¥ 16,000	昼食代 500円×8人×4回
	交通費	¥ 37,000	交通費（2人タクシー以外） 500円×6人×4回×2（往復） 資材食材運搬タクシー代 25,000円（10回×2（往復））
	消耗品費	¥ 34,221	資材 りんごカッター 8個 4,792円、トンゲ 2個 1,918円、缶切 249円、冷蔵庫用温度計 2個 578円、不織布おしぼり 2個 778円、ザル 5個 3,345円、ボール 5個 1,885円、ニトリル手袋1,090円、ピーカー 5個 645円、計量スプーン 529円 他
	消耗品費	¥ 8,567	印刷 ※団体の宣伝用
	通信運搬費	¥ 8,570	事務処理用レターバックライト 370円×20枚 ホームページレンタルサーバー年間プラン 1,170円
	その他経費の合計	¥ 104,358	
合計額		¥ 706,870	

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座打合せ(8回)	78,720円	5人×2h×8回×984円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座試作会(8回)	62,976円	2人×4h×8回×984円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座準備(8回)	118,080円	5人×3h×8回×984円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座(4回)	94,464円	8人×3h×4回×984円
	チラシ制作	19,680円	1人×5h×4回×984円
	報告書作成	23,616円	2人×3h×4回×984円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座振り返り、反省会(4回)	31,488円	8人×1h×4回×984円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座片付け、清掃(4回)	31,488円	8人×1h×4回×984円
			人×h×回×984円
			人×h×回×984円
			人×h×回×984円
			人×h×回×984円
			人×h×回×984円
			人×h×回×984円
	合 計 (A)	460,512円	

日本語を母国語としない
子どものための学習支援事業

認定NPO法人外国人の子どものための勉強会

国際推進課

活動状況報告書

1 事業名称 日本語を母国語としない子どものための学習支援事業

2 実施主体

■団体名： 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会

従事者数： 78名

団体概要： 日本語を母国語としない子どもを対象に、真の自立のための日本語学習をはじめとする支援活動をおこなっている。現在、文化ホール教室、常盤平教室、新松戸教室の3つの教室で小・中学生を対象とした定例勉強会を実施しているほか、夏休教室や、高校受験を控えた中学3年生に対し受験教室といった集中勉強会を実施している。

このほか、日本語指導の内容・方法の研究、教材・カリキュラムの作成、国際交流イベントへの参加、参集した子どもの交流親睦を目的にしたイベントなども実施している。

■事業担当課： 国際推進課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

事業の実施（勉強会の運営、地域との協働）

■担当課の役割

会場の提供、事業実施に係る情報提供

4 事業の実施内容

1-1 定例勉強会の受け入れ生徒数を増やす

文化ホール教室 土曜日 午後 中学生対象	4～3月 実施日数 全 39 日 実施日：4月8日, 15日, 22日 5月13日, 20日, 27日 6月3日, 10日, 17日, 24日 7月1日, 8日, 15日, 22日 9月2日, 9日, 16日, 30日 10月7日, 14日, 21日, 28日 11月4日, 11日, 18日, 25日 12月2日, 9日, 16日 1月13日, 20日, 27日 2月3日, 10日, 17日, 24日,
----------------------------	--

	<p>3月2日,9日,16日</p> <p>参加生徒数 延べ 440 人 支援スタッフ数 延べ 575 人</p>
<p>常盤平教室 火曜教室 午後 小学生対象</p>	<p>4～3月 実施日数 全 42 日</p> <p>実施日 4月11日,18日,25日 5月2日,9日,16日,23日,30日 6月6日,13日,20日,27日 7月4日,11日,18日 9月5日,12日,19日,26日 10月3日,10日,17日,24日,31日 11月7日,14日,21日,28日 12月5日,12日,19日 1月9日,16日,23日,30日 2月6日,13日,20日,27日 3月5日,12日,19日</p> <p>参加生徒数 延べ 264 人 支援スタッフ数 延べ 279 人</p>
<p>常盤平教室 木曜教室 夕方 中学生対象</p>	<p>4～3月 実施日数 全 40日</p> <p>実施日 4月6日,13日,20日,27日 5月11日,18日,25日 6月1日,8日,22日,29日 7月6日,13日,20日 9月7日,14日,21日,28日 10月5日,12日,19日,26日 11月2日,9日,16日,30日 12月7日,14日,21日 1月11日,18日,25日 2月1日,8日,15日,22日,29日 3月7日,14日,21日</p> <p>参加生徒数 延べ 261 人 支援スタッフ数 延べ 235 人</p>
<p>常盤平教室 土曜教室 午前 小学生対象</p>	<p>4～3月 実施日数 全 37日</p> <p>実施日 4月8日,15日,22日 5月6日,13日,20日,27日 6月3日,10日,17日,24日 7月1日,8日,15日, 9月2日,9日,16日 10月7日,14日,21日,28日 11月4日,11日,18日,25日 12月9日,16日 1月13日,20日,27日 2月3日,10日,17日,24日 3月2日,9日,16日</p> <p>参加生徒数 延べ 272 人 支援スタッフ数 延べ 294 人</p>
<p>常盤平教室 土曜教室 午後 小学生対象</p>	<p>9～3月 実施日数 全 21 日</p> <p>実施日 9月30日、10月7日,14日,21日,28日 11月4日,11日,18日,25日 12月9日,16日 1月13日,20日,27日 2月3日,10日,17日,24日</p>

	3月2日, 9日, 16日 参加生徒数 延べ170人 支援スタッフ数 延べ180人
新松戸教室 水曜日 夕方 小中高生対象	4～3月 実施日数 全40日 実施日 4月12日, 19日, 26日 5月10日, 17日, 24日, 31日 6月7日, 14日, 21日, 28日 7月5日, 12日, 19日 9月6日, 13日, 20日, 27日 10月4日, 11日, 18日, 25日 11月1日, 8日, 15日, 22日, 29日 12月6日, 13日, 20日 1月10日, 17日, 24日, 31日 2月7日, 14日, 21日, 28日 3月6日, 13日 参加生徒数 延べ482人 支援スタッフ数 延べ506人

(集中勉強会)

新松戸教室 夏休み教室	実施日 8月21, 22, 25日 全3日 参加生徒数 延べ13人 支援スタッフ数 延べ14人
受験教室 日曜日・冬休み 午後 ゆうまつど	10月～2月 実施日数 全23日 実施日 10月1日, 8日, 15日, 22日, 29日 11月5日, 12日, 19日, 26日 12月3日, 10日, 17日, 26日, 27日, 28日 1月4日, 5日, 14日, 21日, 28日 2月4日, 11日, 18日 他会場使用 勤労会館 10月8日, 11月5日, 12月17日 文化ホール 12月26日, 27日, 28日 1月4日, 5日 参加生徒数 延べ224人 支援スタッフ数 延べ251人

1-2 初級クラスの導入

日付	作業内容
4月～1月	事業打ち合わせ 10回 延べ49人参加
6月 1日	日本語初級教育を実施している他団体へのアンケート調査実施
11月 20日	研修会「日本語の初期指導について」実施 24名参加
1月 22日	YSC グローバルスクールオンライン授業体験
2月 5, 8, 9日	YSC グローバルスクールオンライン授業見学
2月 6日	中野区国際交流協会日本語教室見学
2月 14日	YSC グローバルスクールあだち竹の塚教室授業見学

1-3 オンライン授業の導入

日付	作業内容
4月～3月	オンライン授業 延べ170回実施 希望のあった3名の生徒に個別に主として日本語学習の支援を実施
5月26日	事業打ち合わせ
7月22日	生徒・スタッフ対象のGoogle Drive内共有教材使い方説明会実施
10月	スタッフ対象のオンライン学習実態調査実施
11月26日	スタッフ対象のオンライン学習勉強会をオンラインで実施
12月7日	事業打ち合わせ

2-1 集中勉強会及び交流会の担い手を増やす

日付	作業内容
5月～6月	「夏休み教室」周辺大学生の募集 チラシ1,000部を県内10大学に直接訪問し依頼、5大学に郵送 zoomで依頼、市内公共施設、東京ボランティアセンターに配架依頼。 ホームページ、Facebook、Instagram、ボランティア募集サイト「アクティボ」で募集。
7月25, 26 27, 28, 29日	大学生が企画運営する「夏休み教室」の実施 各日勉強会の後に、学生が企画したイベントを実施した。 ○中学生クラス 場所 文化ホール国際友好ルーム 参加生徒延べ79人 支援スタッフ数延べ20人 大学生延べ51人 25日：生徒自己紹介（出身国国旗使用） 26日：自由研究（バター作り） 27日：ミニゲーム（あっちむいてホイ等） 28日：大学生・学生生活紹介 29日：縁日（輪投げ、コマ作り、射的、駄菓子釣り） ○小学生クラス 場所 常盤平市民センター 参加生徒延べ74人 支援スタッフ数延べ19人 大学生延べ45人 25日：自己紹介、フルーツバスケット、ジェスチャー、じゃんけん列車 26日：室内遊び（折り紙、かるた、福笑い） 27日：ホール内遊び（ドッジボール、鬼ごっこ） 28日：自由研究（割れないシャボン玉作り、外で飛ばす） 29日：自由研究のまとめ、大学生・将来の夢話す

2-2 地域の理解を得る

日 付	作 業 内 容
9月～11月	まつど地域活躍塾の実地体験受け入れ 延べ20人
9月30日	常盤平地区イベント「古着でオリジナルフラッグづくり」参加
10月21日	「松戸市国際文化祭」参加
10月27日	「松戸市多文化共生ワークショップ in 新松戸」参加
11月12日	「ちば多文化共生円卓会議」参加
3月23日	「みらいフェスタ 2024」参加

2-3 地域との協働

常盤平団地において常盤平団地自治会と連携し団地自治会館での出張授業を検討したが、同地区で活動する子ども食堂「まんぷく小屋」と連携する方針へ変更となり、別事業として実施することとしたため、協働事業としての実施は見送ることとした。

(2) 事業内容のふりかえり

1-1 定例勉強会の受け入れ生徒数を増やす

新規入会を希望する生徒が急増したため、既存の教室では追いつかない状況が生じたが、新たなスタッフ希望者の参加を得て、常盤平教室の土曜日午後に教室を暫定的に開設し、受け入れることができた。

1-2 初級クラスの導入

日本語の能力がほとんどない外国から来た子供たちに日本語の初期指導を行うに際し、既に実施している団体へアンケートを郵送にて実施した。留意すべきことについての研修会を実施。また他団体が行っている日本語初心者教育支援の状況を見学した。しかし、実際に日本語初級者に対して集中した学習支援を行っていく場合、現状の週1回では効果が十分ではなく、私たちにできることはどんなかたちがあるのかまだまだ課題がたくさんある。

1-3 オンライン授業の導入

オンライン授業は、これまで進めてきた教材の集約化を継続しつつ、その利用方法をスタッフおよび生徒に説明を行い、また教室での対面に近い形でのオンライン学習の実例をもとにスタッフへの勉強会を行った。しかし、同時期に集計したスタッフを対象にした調査結果からは、実際に導入しているケースは3名と少ないのが実情である。今後、オンライン学習を進めていくためには、生徒のオンライン学習参加への機運を高め、希望する生徒の把握に努めていくことが必要である。

2-1 集中勉強会及び交流会の担い手を増やす

夏休み教室で大学生に企画運営から参加してもらうため、作業は大変だったが周辺の大学を中心に15大学に（そのうち10校は直接訪問）学生の参加依頼をした。またチラシでの募集の限界を知りボランティア募集サイト「アクティボ」を使用した。その結果、県内大学生20名、県外大学生5名計25名と広い地域からの応募があり、担い手を増やすことが出来た。当初予定した人数の学生の参加・協力のもとに5日間の夏休み教室を実施できた。そこでは、夏休みの宿題を手伝うのが主となるが、学生による企画でゲームや自由研究など生徒の興味を引くような工夫を取り入れることができた。

例年実施している受験教室では、国語9名、数学10名、英語10名のスタッフが参加し、生徒の受験科目に応じて、ほぼマンツーマンで支援できた。大学生の参加も検討したが、今年度はできず来年度に持ち越した。

参加した生徒16名は、全員志望通りの高校に合格した。なお、今後に向けては、私立高校志望と公立高校志望、双方を考えた支援のあり方という新しい課題が見つかった。

2-2 地域の理解を得る

地域の人々を対象にした当会の活動を見学してもらうイベントは実施できなかった。

たが、地域イベントへ参加をし、また、まつど地域活躍塾での実地体験やまつど市民活動サポートセンターを通じボランティア参加希望者を積極的に受け入れ、地域の人々が日本語を母国語としない子どもに接する機会をもってもらった。

2-3 地域との協働

常盤平団地において常盤平団地自治会と連携し団地自治会館での出張授業を当初検討したが、現在の自治会では子供会が機能しておらず、同地区で活動する子ども食堂「まんぷく小屋」とも連携する方針に修正した。まんぷく小屋・団地自治会と子どもの居場所づくりの設置に努めてきたが、流通経済大学が事業の一環として団地内に活動施設を確保した機会をとらえ、大学の協力を得てそこを子どもの居場所として開設した（週1回、児童館が休業となる月曜日に開所）。そのなかで、外国人の子どもに対し日本語学習のための出張授業を行っていくことを模索しているところである。

<予算の変更等について>

- ① 新松戸教室で教室用に市民センター会議室予算を取っていたが、今年度も引き続き新松戸市民活動支援コーナーが利用でき、また、小学生、中学生が一緒に教室を利用するようにしたため会議室予算は不要になった。逆に教材置き場として「助っ人」事務所を借りたため賃借料7,200円を計上。
- ② 受験教室の会場としてとしてゆうまつど、勤労会館の使用料20,000円を計上。
- ③ 夏休み教室の会場として常盤平市民センターの大ホールと会議室を使用したため使用料4,045円を計上
- ④ 夏休み教室の大学生募集で使用したボランティア募集サイト〈アクティボ〉登録料を通信運搬費としてあらたに6,380円計上。
- ⑤ 夏休み教室で学生達が企画した生徒とのイベント縁日費用約4,000円（消耗品費、食糧費）を計上
- ⑥ 夏休み教室で学生が企画した屋外での実験や遊びで、熱中症対策の飲料水を補充したため約1,500円を追加計上
- ⑦ オンライン教室開催用の通信費用について、オンライン授業に向けた活動がまだ個々人のやり方で進んでいたため、今年度の予算を使うかたちまでにならなかった。
- ⑧ 各教室教材を印刷製本費として予算に入れていたが、教材購入は消耗品費に分類との指摘をうけ科目を変更した。
- ⑨ 初級クラスの導入について、既に実施している団体についてアンケート調査を郵送にて行うこととしたため、送料が発生した。

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

- | |
|---|
| ① 生徒数増（令和4年度末人数+10名）
55人から 66人に 11名増加 |
| ② オンライン授業を12回実施
5年度オンライン授業実施実績 170回実施 |
| ③ スタッフ以外の者と企画運営する集中勉強会及び交流会を1つ以上実施
7月末に中学生および小学生を対象にした夏休み教室の企画運営を大学生の参加により実施 |

6 今後の事業展開

少子・高齢化が今後、ますます進んでいく社会において、外国労働者の受け入れ増は不可欠であり、居住期間も伸びていく。それに伴い来日する外国人の子どもたちはこれまで以上に増えていくとみられ、外国人の子どもたちを支援する当会がそれに対応できるよう体制を強化していかなければならない。

また、地域との協力体制を進めていきたいと考えている。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,889,496	¥ 2,810,304	¥ 79,192	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 41,720	¥ 164,727	¥ ▲123,007	
	生徒参加費	¥ 270,000	¥ 360,000	¥ ▲90,000	3,000円×3学期×40人
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 311,720	¥ 524,727	¥ ▲213,007	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ 0	←精算額
合計額 (D) = (B + C)		¥ 811,720	¥ 1,024,727	¥ ▲213,007	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	¥ 96,000	¥ 4,000	夏休み教室学生スタッフ謝金 25人×1,000円×参加日数
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 162,693	¥ ▲112,693	コピー機インク・用紙 50,493円 文房具 その他 25,118円 各教室教材 87,082円
	印刷製本費	¥ 170,000	¥ 50,968	¥ 119,032	生徒・学生スタッフ募集チラシ 28,198円 教材コピー 他 22,770円
	使用料及び賃借料	¥ 335,720	¥ 269,638	¥ 66,082	常盤平教室 228,440円 新松戸教室（助っ人） 7,200円 ゆうまつど・勤労会館 28,493円 常盤平・稔台市民センター 5,505円
	通信運搬費	¥ 0	¥ 9,652	¥ ▲9,652	ボランティア募集サイト登録料 6,380円 他
	食糧費	¥ 0	¥ 4,401	¥ ▲4,401	夏休み教室熱中症対策飲料 1,453円 夏休み教室学生企画緑日景品 2,948円
	対象経費の合計 (E)	¥ 655,720	¥ 593,352	¥ 62,368	
	（その他）経費	食糧費	¥ 30,000	¥ 3,627	¥ 26,373
印刷製本費		¥ 30,000	¥ 173,076	¥ ▲143,076	会報かけはし制作費 3回発行 173,076円
通信運搬費		¥ 66,000	¥ 65,758	¥ 242	会報郵送代 30・31・32号 合計504通 他
その他		¥ 30,000	¥ 188,914	¥ ▲158,914	夏休み教室参加学生交通費 25名 他
その他経費の合計額 (F)		¥ 156,000	¥ 431,375	¥ ▲275,375	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 811,720	¥ 1,024,727	¥ ▲213,007	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 164,727	事業費の一部を団体の会計より拠出
	生徒参加費	¥ 360,000	3,000円×3学期×40人
	自己資金の合計額	¥ 524,727	
市	松戸市負担金	¥ 500,000	
合計額		¥ 1,024,727	

【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 96,000 夏休み教室学生スタッフ謝金 25人×1,000円/日×参加日数(延べ96日)
	消耗品費	¥ 162,693 コピー機インク 11セット 41,190円/ コピー用紙 20束 9,303円/ 小学生実験含む教材 3,139円 文房具 10,128円(油性ペン・ノート他) / 雑貨11,851円(感染予防対策品1,631円、紙コップ220円、プリンタークリーニング交換(DVD4,500円+アプリインストール5,500円)) 各教室教材 87,082円(中学生のにはんご6冊13,200円、高校入試過去問 1,200円、トレーニング理科1,369円他)
	印刷製本費	¥ 50,968 生徒募集チラシ 1,300部 7,326円/ 夏休み教室学生スタッフ募集チラシ 1,000部 4,904円 夏休み生徒募集チラシ 1,000部 7,344円/教室紹介パンフレット 1,000部 8,624円/資料コピー 3,880円/ 教材コピー代 18,890円
	使用料及び賃借料	¥ 269,638 常盤平教室 1,900×12ヶ月+手数料=228,440円(年間) / 新松戸教室(助っ人部屋借) 600円×12ヶ月=7,200円/ 常盤平市民センター(夏休み教室5日間) 4,385円/ 稔台市民センター(研修会) 1,120円 ゆうまつど・勤労会館・市民会館(文化ホール教室会議、受験教室) 28,493円
	通信運搬費	¥ 9,652 夏休み教室学生スタッフ募集のためのチラシ送料 2,600円/ 初級クラス検討アンケート送料 672円/ ボランティア募集サイト登録料 6,380円
	食糧費	¥ 4,401 夏休み教室熱中症対策飲料 1,468円/ 夏休み教室学生企画縁日景品 2,952円
	対象経費の合計	¥ 593,352
その他経費	食糧費	¥ 3,627 夏休み教室学生企画縁日景品 3,627円
	印刷製本費	¥ 173,076 会報かけはし制作費 30号4/15発行 制作44,330円 印刷600部 19,800円 31号9/2発行 制作44,330円 印刷600部 10,344円 32号12/15発行 制作44,275円 印刷500部 9,997円
	通信運搬費	¥ 65,758 会報郵送代 30号 120円×173通=23,700円 31号 120円×177通=21,240円 Zoom会議契約 2,338円 32号 120円×154通=18,480円
	その他	¥ 188,914 夏休み教室参加学生交通費 25名 170,155円/ その他交通費 17,934円/ 両替手数料 825円
	その他経費の合計	¥ 431,375
合計額	¥ 1,024,727	

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	既存事業強化の検討及び実施	157,440 円	8 人 × 2 h × 10 回 × 984 円
	既存事業の運営	2,361,600 円	60 人 × 1 h × 40 回 × 984 円
	初級クラス勉強会	98,400 円	5 人 × 2 h × 10 回 × 984 円
	オンライン授業の実施	59,040 円	3 人 × 2 h × 10 回 × 984 円
	外部支援者との交流打ち合わせ	98,400 円	5 人 × 2 h × 10 回 × 984 円
	常盤平団地自治会との協働	35,424 円	3 人 × 2 h × 6 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
	合 計 (A)	2,810,304 円	

冒険山開放に伴う見守り事業

冒険山開放委員会

活動状況報告書

1 事業名称 冒険山開放に伴う見守り事業

2 実施主体

■団体名： 冒険山開放委員会

従事者数： 19名

団体概要：「子どもたちの健やかな成長を願って」を理念とし令和元年6月に発足。
子どもたちは自然から学び、遊びから学びます。見守り活動によって学び
の機会を提供し、子どもたちをささえていこうという志を持った団体。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①見守り活動と各種体験広場の開催

日 付	作 業 内 容
4月2日	全19回
5月7日、14日	子どもの参加延べ118名 見守り延べ58名
6月4日、11日	開放日の毎月第一、第二日曜日の午後。校庭で遊ぶ子供たちの
7月2日、9日	見守り活動。昔ながらの遊び道具（竹馬、ぼっくり、けん玉、駒ま
8月6日	ど）を揃え一緒に遊びながら遊びの指導も行った。
9月3日、10日	
10月1日、8日	
11月5日	
12月3日、10日	
1月14日	
2月4日、11日	
3月3日	

②里山散策とザリガニ釣り大会

日 付	作 業 内 容
6月11日、 7月2、9日	打ち合わせ（小金北小学校校庭、金杉会館整理記念館）
6月11日	ポスター作成、周知
7月16日	会場下見、確認準備、景品・駄菓子購入。
7月23日	根木内里山歴史公園にて実施。参加者：19名 スタッフ：15名

	<p>大物賞、大漁賞、団体賞など。</p> <p>ザリガニ釣りをさらに盛り上げるために賞品を用意しました。</p> <p>大物賞 釣ったザリガニの中で一番大きなものを釣った人に</p> <p>大漁賞 釣ったザリガニで一番数が多かった人に</p> <p>団体賞 参加したメンバーを5チームに分けて合計の数が一番多いチームのメンバーに</p> <p>里山散策はスズメバチがとんでいるとの事で中止しました。</p>
--	--

③焼き芋の集い

日 付	作 業 内 容
10月1日	ポスター作成、周知
10月1日、8日、 11月5日	打ち合わせ（小金北小学校校庭、金杉会館整理記念館）
11月2日	材料準備、焼き芋の下処理を行い、当日会場に持ち込むよう業者に依頼した
11月12日	中金杉浅間公園にて実施。参加者：97名 高学年には火起こし体験を体験させました。マッチを持った経験のある子どもは、ほとんどなく初体験のようでした。

④オンラインセミナーの実施

(1) オンラインセミナー 講師 下 正宗氏

団体側の日程と都合が合わず、実施できませんでした。

(2) オンラインセミナー 講師 長澤 勇哉氏

日 付	作 業 内 容
12月1日	ポスター作成、周知
12月3日、6日	打ち合わせ（小金北小学校校庭金杉会館整理記念館）
12月20日	テーマ「子どもと遊び」 講師 長澤勇哉氏 参加者：14名 QRコードにて申し込みの受付 現在の子どもたちがのびのびと育つための環境づくりやかかわり方について参加者のメンバーとともに一緒に考える。

⑤新春凧揚げ大会

日 付	作 業 内 容
12月1日	ポスター作成、周知
12月3日、10日	打ち合わせ

12月24日	会場下見、確認、凧購入等準備
1月7日	東洋学園大学グラウンド 参加者：57名 参加した子どもたちには凧をもれなくプレゼントしました。

(2)事業内容のふりかえり

<p>①冒険山開放日の参加者見守りと、各種体験広場の開催</p> <p>冒険山開放日の見守りについては、見守り延べ58名と、昨年から現状維持といった形となりました。体験広場の出前については、メンバーの意思統一が出来ず実施はしませんでした。</p> <p>②里山散策とザリガニ釣り大会</p> <p>8月28日雨模様の中、根木内歴史公園でザリガニ釣り大会を実施しました。参加した子どもたちは19名で、4グループに分けてチームをつくり大会を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザリガニ釣り大会の景品で駄菓子を購入した理由 <p>ザリガニ釣り大会に参加した子どもたちに賞品を提供するために駄菓子を用意しました。目先を変えて子どもたちに喜んでもらえればと考えました。</p> <p>根っこの会（根木内歴史公園の管理団体）の皆様には大変お世話になりました。</p> <p>③焼き芋の集い</p> <p>10月27日に中金杉浅間公園にて実施しました。ガールスカウト千葉県26分団から3名の支援をいただき、子どもたちに火起こし体験をしてもらいました。公園内では中金杉スマイルクラブの指導をお願いしグラウンドゴルフの実施や、子どもソフトボールチームによるストラックアウトを実施しました。</p> <p>④オンラインセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各イベントは会を重ねるにつれて参加者も増えて盛り上がりました。 ・オンラインセミナーは通算して3回目の開催でしたが、今年度の開催は日程の都合がつかず1回のみで開催となりました。参加者が見込みを下回り残念でした。福岡、都内からの参加者もあり多彩な意見も出されましたが、参加人数が目標の20名を越えませんでした。実際の子育てに忙しい身近な方々の参加を期待しましたが、関係者が大半を占めました。参加者全員が意見を述べあって子育てに対する理解は深まったと思います。 <p>⑤新春凧揚げ大会</p> <p>1月7日、東洋学園大学のグラウンドにて新春凧揚げ大会を実施しました。</p> <p>久しぶりに程よい風があり、凧揚げには最高の日和でした。</p> <p>計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大道芸人を呼ばなかった理由。 <p>大道芸人のKAYAさんは中金杉の地元で生まれ子どもたちに人気があります。子どもたちの動員には大きな効果をもたらすと考え準備していました。中金杉のふるさと祭りに出演された際は、人気抜群で好評でした。焼き芋の集いや凧揚げ大会の出演を検討していましたが、企画の主旨から少し外れる、焦点がぼけるという事で取りやめました。</p>
--

その他

冒険山開放以外に、7/16 草刈実施。北小学校の開放日に利用している他の団体に声をかけて校庭全体の草刈を行いました。今年は70名の参加がありました。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

目標①イベントを強化することによって、普段の開放日の参加者の10人の増加を図る。ザリガニ釣り大会、焼き芋の集い、凧揚げ大会は参加人数も増えてイベントの強化に繋がった。普段の開放日の参加者は今年も増加はなく平均で6~7人でした。コロナ禍による生活様式の変化で小金北小学校での子どもたちの参加が年ごとの減少してきたのが大変気になりました。

目標②継続的な事業展開を目指すため、見守り隊の強化のために行ったこと。近隣の自治会・町会に呼びかけましたが見守り隊のメンバーを増やそうと努めましたが、現状維持しかできませんでした。

目標③宣伝活動をし、小金北小学校主体の事業から小金北地区の小学生の参加を促す活動をする。イベントの告知には力を入れました。近隣の自治会、町会の掲示板にポスターを掲示。またセブンイレブンや郵便局にもポスターを配りました。子ども会や学童保育、規模の大きなソフトボール、サッカー、バスケットボールのチームの代表にはラインでイベントの案内を流していただきました。

5 今後の事業展開

・来年は市民活動助成事業から外れます。資金集めを検討して今までと同レベルの活動ができるようにします。課題は小金北小学校開放日の参加に、子どもたちの参加をどう促すかです。

・国の未来はまさに子どもたちの中にあります。子どもたちは遊びから学び自然から学びます。色々な体験は子どもたちにとって、なくてはならない必須科目です。自立したたくましい子どもたちをいかに育てるかは、我々大人たちに課せられた大事なテーマです。子どもたちを取り巻く環境は厳しさを増していますが、子育てに忙しい親の啓蒙活動もすべきだとの判断でオンラインセミナーを続けていますが、なかなか思うような手ごたえが感じられていません。告知方法をさらに検討してめげずに改めてチャレンジします。

令和5年度収支決算書

冒険山解放委員会

【収入】

(単位:円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	関係団体寄付金	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	近隣町会からの寄付金
	団体拠出金	¥ 23,346	¥ 16,708	¥ 6,638	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 43,346	¥ 36,708	¥ 6,638	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 210,114	¥ 139,881	¥ 70,233	←精算額
合計額(C)=(A+B)		¥ 253,460	¥ 176,589	¥ 76,871	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 10,000	¥ 20,000	外部講師謝礼 長澤 勇哉氏
	消耗品費	¥ 105,000	¥ 70,585	¥ 34,415	ザリガニ釣り大会 7,534 焼き芋の集い28,198 凧あげ大会 31,718 インク代 3,135
	使用料及び賃借料	¥ 25,500	¥ 16,100	¥ 9,400	打合せ会場使用料 4回分 8,100 焼き芋 機レンタル料 8,000
	印刷製本費	¥ 17,000	¥ 11,150	¥ 5,850	コピー代
	委託料	¥ 40,000	¥ 37,356	¥ 2,644	サツマイモ調理委託
	保険料	¥ 15,960	¥ 8,400	¥ 7,560	行事保険 ザリガニ釣り1,960 焼き芋4,200 凧あげ2,240
	食糧費	¥ 0	¥ 1,833	¥ ▲1,833	焼き芋の集い景品用駄菓子972 ザリガニ釣り大会駄菓子861
対象経費の合計(D)		¥ 233,460	¥ 155,424	¥ 78,036	
(その他 対象外)経費	食糧費	¥ 20,000	¥ 21,165	¥ ▲1,165	昼食代2回
	その他経費の合計額(E)	¥ 20,000	¥ 21,165	¥ ▲1,165	
合計額(F)=(D+E)		¥ 253,460	¥ 176,589	¥ 76,871	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 70,233
------------	----------

収支内訳書（令和5年度）

冒険山解放委員会

【収入】

(単位：円)

区分	科目	金額	
団体	関係団体寄付金	¥ 20,000	近隣町会からの寄付金
	団体拠出金	¥ 16,708	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 36,708	
市	市民活動助成金	¥ 139,881	
合計額		¥ 176,589	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	講演会謝礼(外部講師 長澤 勇哉氏)
	消耗品費	¥ 70,585	ザリガニ釣り大会 7,534 (ザリガニ入れカップ1,095 バケツ他1,320 景品代 巾着袋660、クールタオル990、やわらかタオル660他) 焼き芋大会 28,198(芋代19,720 木炭968 スポンベ 3,000 ストラックアウト賞品 踊りおめん330 しゃぼん玉330 折紙440他) 凧あげ大会 31,718 (凧 48個 27,984 Sフック他3,187 傷テープ547) インク代 インク×3個 3,135
	使用料及び賃借料	¥ 16,100	打合せ会場使用料 8,100 (中金杉青年館 2,700×2 1,350×2) 焼芋機レンタル8,000
	印刷製本費	¥ 11,150	コピー代 11,150
	委託料	¥ 37,356	サツマイモ調理委託 蒸気にて加熱処理
	保険料	¥ 8,400	行事保険 ザリガニ釣り1,960 焼き芋4,200 凧あげ2,240
	食糧費	¥ 1,833	焼き芋 景品用駄菓子(パインキャンデー108 塩キャラメル108 ミルクキャラメル108 他) ザリガニ釣り大会 景品用駄菓子(ポテトチップス108 他)
	対象経費の合計	¥ 155,424	
その他経費	食糧費	¥ 21,165	昼食代2回
	その他経費の合計	¥ 21,165	
合計額		¥ 176,589	

町会・自治会の活動をPRして
親しみをもってもらおう事業

できる街プロジェクト

市民自治課

活動状況報告書

1 事業名称 町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業

2 実施主体

■団体名： できる街プロジェクト

従事者数： 15名

団体概要： 2015年10月設立のNPO企画団体・市民公益活動団体。

本会は、地域活性化を目的とし、各々のやりたいことの実現を目指した企画・運営を行う。主にアニメ・漫画を使った市のPR活動、障害者支援、引きこもり支援など多岐にわたり活動。

■事業担当課： 市民自治課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・脚本、漫画、アニメの作成
- ・団体のYouTube・SNSに投稿
- ・TV放送各種手続き

■担当課の役割

- ・効果の見込める内容、PRしたい内容のピックアップ
- ・ヒアリングする町会・自治会の選定、連絡調整
- ・制作物の内容の確認、修正
- ・プレスリリース
- ・松戸市のYouTube（まっちゃんねる）に投稿、マルチリンガル対応
- ・松戸市役所、支所等に設置されている電子モニターでのPR
- ・SNSによるPR

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

A. 松戸市町会・自治会PR内容の調査・ヒアリング

日付	作業内容
～R5.3/31	脚本制作のための情報収集（下記のヒアリング後に実施） ※事業開始前に取材 2/5 東部地区会（第7話：町会・自治会の防災訓練について） 2/24 馬橋中央町会（第9話：町会・自治会のお祭りについて）

	3/23 小金原九丁目町会 (第8話:町会・自治会の若手役員について)
--	-------------------------------------

B. 松戸市町会・自治会 PR 漫画の制作・公開

日 付	作 業 内 容
4/1～2/5	第7話制作・公開 ラフ案・漫画制作 仕上げ依頼 完成後の色チェック できる街プロジェクト及び市のHP・Xにて公開
4/1～2/13	第8話制作・公開 ラフ案・漫画制作 仕上げ依頼 完成後の色チェック できる街プロジェクト及び市のHP・Xにて公開
4/1～2/20	第9話制作・公開 ラフ案・漫画制作 仕上げ依頼 完成後の色チェック できる街プロジェクト及び市のHP・Xにて公開
4/1～3/31	第10話制作・公開 ラフ案・漫画制作 仕上げ依頼 完成後の色チェック できる街プロジェクト及び市のHP・Xにて公開

C. 松戸市町会・自治会 PR アニメの制作・公開

日 付	作 業 内 容
10/1～10/10	第7～10話台本制作・印刷
10/11	音声収録 声優出演：じちまる役 村田綾野、まつかめ役 萱沼千穂、ウサギ会長役 ちはる、ライオン会長役 ゆうま、白ネコ役員役 谷始央理、灰ネコ役員役 大熊里彩、パンダ会長役 岡田めい ・収録会場：プラチナムガレージ ・音響機材使用
4/1～11/26	第7話アニメ制作・公開

	映像制作 BGM 制作依頼 効果音制作 できる街プロジェクト HP 及び松戸 YouTube チャンネルで公開
4/1～12/3	第 8 話アニメ制作・公開 映像制作 BGM 制作依頼 効果音制作 できる街プロジェクト HP 及び松戸 YouTube チャンネルで公開
4/1～2/18	第 9 話アニメ制作・公開 映像制作 BGM 制作依頼 効果音制作 できる街プロジェクト HP 及び松戸 YouTube チャンネルで公開
4/1～3/31	第 10 話アニメ制作・公開予定 映像制作 BGM 制作依頼 効果音制作 できる街プロジェクト HP 及び松戸市 HP で公開

D. じちまる&まつかめが登場するアニメの制作・地上波 TV 放送

日 付	作 業 内 容
4/1～12/31	TV アニメ制作 映像制作 BGM 制作依頼 素材制作依頼
6/14	音声収録 声優出演：じちまる役 村田綾野、まつかめ役 萱沼千穂、林谷キリ 役 谷始央理、テガちゃん役 月野もあ ・収録会場：プラチナムガレッジ ・音響機材使用
3/29	TV アニメ放送

E. プレスリリース・周知

日 付	作 業 内 容
1/1～3/28	フライヤー、ポスター制作 デザイン制作
3/27	団体・担当課それぞれでプレスリリース
4 月予定	フライヤー、ポスター配布 ・市民課及び 8 支所の窓口チラシ配架 ・市内公共施設にチラシ配架、ポスター掲示

(2) 事業内容のふりかえり

A. 松戸市町会・自治会 PR 内容の調査・ヒアリング

町会・自治会の代表的な活動内容の提案及びその活動を活発に行っている町会長との調整を市民自治課が行い、対面での取材を実施した。取材を通して、地域がより良くなるように活動している方々の思いを感じ、あまり知られていない活動内容や町会・自治会活動に携わる方々の熱意を伝えられるような構成づくりを意識した。

B. 松戸市町会・自治会 PR 漫画の制作・公開

C. 松戸市町会・自治会 PR アニメの制作・公開

松戸市町会・自治会キャラクターたちが登場する町会・自治会の活動をストーリー仕立てで紹介する漫画・アニメを制作。制作にあたっては、防災活動やお祭りなど生活に近い話題や実際に町会・自治会で活躍している若手役員を取り上げ、若い人にも伝わりやすく、身近に感じてもらえるように工夫をした。また、町会・自治会のイベント等に参加するだけでは知る機会のないお金の使われ方や準備についても、キャラクターを通して伝えることで親しみを持ってもらえるよう心がけた。制作物は、団体の HP・SNS の他、市の HP・SNS・広報誌等にて発信。本事業の内容について周知するためのポスター・フライヤーを作成し、4 月中に公共施設へ配架・掲示を行う予定。声優出演料の報償費について、ストーリー制作の関係で第 8 話にキャラクターが増えたことや予算検討時より声優出演料が上がったため総額は増額したが、団体構成員が出演したことで一部が対象外経費となったため、減額の収支決算となった。

D. じちまる&まつかめが登場するアニメの制作・地上波 TV 放送

TV アニメ「超普通県チバ伝説」第 13 話にてじちまる・まつかめが松戸市の町会・自治会活動について紹介する。放送日は 3 月 29 日(金) TOKYO MX で、その後も AT-X や TVer などでも放送を行っている。

E. プレスリリース・周知

団体の HP・SNS の他、市の HP・広報誌等にて発信し、全国のより広い地域へ、本事業を知ってもらい、大きな注目を集めるよう取り組んだ。

また、計画していたフライヤー印刷はデザイン変更にかかったため、発注は今年度行ったものの、納品は4月となるため、対象外経費として計上した。

若い世代が興味を持ちやすく、気軽に見てもらいやすいインターネット等を活用して、今後もより効果的に広めていきたいと思う。

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

○目標の達成

①漫画制作【制作漫画数：4話、SNSでの視聴回数：10,000回】《3/31時点》

→X 視聴回数

第7話：4,487回、第8話：2,524回、第9話：4,232回、第10話：3,378回

②動画制作【制作動画数：5本、SNSでの視聴回数：10,000回】《3/31時点》

→

団体 ・YouTube 千葉のテガちゃんネル

第7話：203回、第8話：244回、第9話：168回、第10話：78回、
TVアニメ：739

・X

第7話：8,458回、第8話：1,420回、第9話：572回、第10話：1,012回、
TVアニメ 16238回

松戸市 ・まっちゃんねる視聴回数

第7話：88回、第8話：123回、第9話：58回、第10話：今後配信予定

(まっちゃんねるでは聴覚に障害のある方等に配慮し、字幕表記を行っているため、第10話については字幕版を作成中)

③2024年度の町会・自治会加入率【2020年度と同等の加入率 67.85%】

→R6/3/31時点 66.09%

○課題の解決

制作した漫画やアニメを広く周知することにより町会・自治会活動の認知度向上を図り、親しみを持ってもらったうえで加入率の低下を防ぎ、人員不足の解消につなげたい。本事業はすぐに効果が表れるものではないと考えられるため、継続して周知を実施することで、少し

ずつ効果が出ていくことを期待している。

6 今後の事業展開

・町会・自治会活動について、取材を兼ねて実際に参加し、継続して町会・自治会のPRを行っていく

・今後作成した成果物を活用し、市内の小学校・転入手続きをされた方へ漫画冊子の配布を行う

以上を行い、認知度の向上を目指す。この活動の認知度が向上することで、松戸市町会・自治会の認知度向上となり、松戸市町会・自治会の加入率向上につなげることができる。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 840,546	¥ 867,888	¥ ▲27,342	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 145,530	¥ 111,280	¥ 34,250	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 145,530	¥ 111,280	¥ 34,250	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ 0	←精算額
合計額 (D) = (B+C)		¥ 645,530	¥ 611,280	¥ 34,250	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 154,000	¥ 130,500	¥ 23,500	村田綾野 (16,500円×2本)、谷始央理・大熊里彩 (16,500円×3本) 月野もあ (33,000円×1本)、ちはる・ゆうま・岡田めい (5,000円×3本)
	消耗品費	¥ 12,130	¥ 7,980	¥ 4,150	インク(カラー4色) プリンタ用紙(B5: 台本用) 6,320円×1箱=6,320円 780円×1箱=780円 プリンタ用紙(A4: 打合せ) 880円×1箱=880円
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
	使用料及び賃借料	¥ 220,000	¥ 180,400	¥ 39,600	使用料(収録作業含む) 18,700円×1回=18,700円 (プラチナムガレージ) 使用料(収録作業含む) 7,700円×1回=7,700円 (プラチナムガレージ) 音響機材レンタル費 33,000円×2回=66,000円 TV放送料 88,000円×1話=88,000円
	委託料	¥ 245,000	¥ 245,000	¥ 0	BGM制作費 10,000円×5話=50,000円 漫画仕上げ代 24,000円×4話=96,000円 TV放送用素材制作費 55,000円×1話=55,000円 完バケ代 11,000円×1本=11,000円 TV用イラスト仕上げ代 33,000円×1本=33,000円
				¥ 0	
				¥ 0	
対象経費の合計 (E)		¥ 641,130	¥ 563,880	¥ 77,250	
（その他） 対象外経費	交通費	¥ 4,400	¥ 4,400	¥ 0	440円×2人×5回
	報償費	¥ 0	¥ 33,000	¥ ▲33,000	萱沼千穂 声優出演料
	印刷製本費	¥ 0	¥ 10,000	¥ ▲10,000	ポスター・フライヤー印刷費
	その他経費の合計額 (F)	¥ 4,400	¥ 47,400	¥ ▲43,000	
合計額 (G) = (E+F)		¥ 645,530	¥ 611,280	¥ 34,250	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 111,280	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 111,280	
市	松戸市負担金	¥ 500,000	
	合 計 額	¥ 611,280	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 130,500	村田綾野（16,500円×2本）、谷始央理・大熊里彩（16,500円×3本）月野もあ（33,000円×1本）、ちはる・ゆうま・岡田めい（5,000円×3本）
	消耗品費	¥ 7,980	インク（カラー4色）：6,320円×1箱=6,320円 プリンタ用紙（B5：台本用）：780円×1箱（500枚）=780円 プリンタ用紙（A4：打合せ）：880円×1箱（500枚）=880円
	使用料及び賃借料	¥ 180,400	使用料（収録作業含む）：18,700円×1回=18,700円（プラチナムガレージ） 使用料（収録作業含む）：7,700円×1回=7,700円（プラチナムガレージ） 音響機材レンタル費：33,000円×2回=66,000円 TV放送料：88,000円×1話=88,000円
	委託料	¥ 245,000	BGM制作費：10,000円×5話=50,000円 漫画仕上げ代：24,000円×4話=96,000円 TV放送用素材制作費：55,000円×1話=55,000円 完パケ代：11,000円×1本=11,000円 TV用イラスト仕上げ代：33,000円×1本=33,000円
	対象経費の合計	¥ 563,880	
その他経費	交通費	¥ 4,400	440円×2人×5回
	報償費	¥ 33,000	菅沼千穂 声優出演料
	印刷製本費	¥ 10,000	ポスター・フライヤー印刷費
	その他経費の合計	¥ 47,400	
	合 計 額	¥ 611,280	

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	動画内容打合せ（5回）	49,200 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 984 円
	イラスト打合せ	11,808 円	2 人 × 2 h × 3 回 × 984 円
	TV放送打合せ	19,680 円	2 人 × 2 h × 5 回 × 984 円
	脚本・漫画ラフ制作（通常4話、TV1話）	295,200 円	1 人 × 60 h × 5 回 × 984 円
	動画制作（アニメ4話）	393,600 円	1 人 × 100 h × 4 回 × 984 円
	動画制作（TVアニメ1話）	98,400 円	1 人 × 100 h × 1 回 × 984 円
	合 計 (A)	867,888 円	

松戸市内廃棄食糧再利用事業

おからを食べよう会

活動状況報告書

1 事業名称 松戸市内廃棄食糧再利用事業

2 実施主体

■団体名： おからを食べよう会

従事者数： 6名

団体概要： おからに関する活動として、廃棄されてしまっているおからを食べて健康寿命を延ばす提案をし、市内の地産地消を活性化させることを目的として活動しています。

また、体に優しい食べ物を食べて、食事で健康になることも目的としています。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

日 付	作 業 内 容
5月21日	メニュー考案：みりんキャラメルパフェ 詳細：具におからドーナツや季節のフルーツ、ヨーグルトを使用し、砂糖の代わりにみりんを煮詰めたシロップをかけたもの。
6月2日	前期講習会（講習会①・②）の打ち合わせ
6月20日～5日	チラシ①のデザイン制作（講習会①・②周知チラシ）
7月6日	チラシ①の印刷
7月10日	Instagram(ストーリー)・LINE公式アカウントを用いた周知①
7月18日	Instagram・LINE公式アカウントを用いた周知②
7月21日～23日	講習会の準備
7月24日	講習会の開催① 馬橋市民センター 講師山崎氏（看護師） 参加者8名 内容：廃棄食料の現状や栄養面の話・料理教室 メニュー：カレーうどん(冷)・おから稲荷寿司・季節のサラダ・みりんキャラメルパフェ
7月27日	Instagram・LINE公式アカウントを用いた周知③
8月13日	Instagram(ストーリー)・LINE公式アカウントを用いた周知④
8月25日～27日	講習会の準備
8月28日	講習会の開催② 馬橋市民センター 講師山崎氏（看護師） 参加者12名 内容：廃棄食料の現状や栄養面の話・料理教室 メニュー：カレーうどん(冷)・おから稲荷寿司・季節のサラダ・みりんキャラメルパフェ

9月2日	市内食料品店へ廃棄状況について話を伺う
9月4日	後期講習会（講習会③・④）の打ち合わせ
9月16日	Instagram(ストーリー)・LINE 公式アカウントを用いた周知⑤
9月25日～29日	チラシ②デザイン制作（講習会③・④周知チラシ）
9月30日	チラシ②の印刷
11月17日	Instagram(ストーリー)・LINE 公式アカウントを用いた周知⑥
11月30日～2日	講習会の準備
12月3日	講習会の開催③ 新松戸市民センター 講師山崎氏（看護師） 参加者9名 内容：廃棄食料の現状や栄養面の話・料理教室 メニュー：カレーうどん(温)・おから稲荷寿司・みりんキャラメルパフェ
1月20日	Instagram(ストーリー)・LINE 公式アカウントを用いた周知⑦
2月2日～3日	講習会の準備
2月4日	講習会の開催④ 新松戸市民センター 講師山崎氏（看護師） 参加者16名 内容：廃棄食料の現状や栄養面の話・料理教室 メニューカレーうどん(温)・おから稲荷寿司・季節のサラダ・みりんキャラメルパフェ
2月13日	Instagram(ストーリー)・LINE 公式アカウントを用いた周知⑧
2月27日～28日	講習会の準備
2月29日	講習会の開催⑤ 会長宅 参加者5名 内容：廃棄食料の現状や栄養面の話・料理教室 メニュー：おからハンバーグ・おから稲荷寿司・季節のサラダ・みりんキャラメルパフェ
3月3日	市内食料品店への食材廃棄量の調査

(2)事業内容のふりかえり

事業内容について、講習会の内容や回数は当初計画した分を行うことができた。しかし、本来は10月に開催するはずだった講習会③の人数が集まらなかったために行うことができず、参加者が多く集まった2月に2回行うことになった。5回目は講師の山崎氏の都合が合わなかったため、資料やお話の内容をまとめてもらい役員が栄養面でのお話をした。

インフルエンザや風邪の影響で急遽キャンセルがいくつか出たとき、回収した参加費に対して食糧費がかさんでしまった。

収支決算について、予算では、周知チラシをまとめて印刷することで費用を抑えることができた。消耗品費では、当初計画していたものよりも沢山の消耗品が必要となり、想定よりも大きく増えた。

また講習会について、計画当初は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、その場での食事は行わず作った料理は持ち帰りとする予定だったが、感染症の影響が落ち着いたため、その場での食事に変更した。持ち帰り用のフリーザーバックについては希望者に対応できるように、計画通り購入した。

考案したメニューについて、講習会のメニューのデザートとして使用した。参加者の反応は、「フルーツとみりんのシロップが良く合っていた」「甘さがくどすぎず食べやすかった」と大人から子供まで好評だった。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

○目標：全5回の講習会で参加者の合計100人以上を目指す。

結果：計50人の参加者

○目標：親世代や子供たちなどの次世代における廃棄されやすい食品の認知拡大。

結果：講習会に親子が11組参加し、実際に私たちが提示した食品に興味を持って店に足を運んだ方が多くいたのでおおむね達成できたとする。

○目標：講習会に携わった事業者や市内食料品店における対象食品の廃棄率20%減を目指す。

結果：ほとんど変化なし。(一部食品(おから)は講習会があった月のみ2~3%減少)

本事業の目的は「おから」を筆頭とする廃棄される事の多い食品の認知拡大、食品の再利用や利用用途の再提案を行うことである。本事業ではできる限り多くの方にお話を聞いてもらい目的を達成することを目指していたが、チラシを配布するタイミングや講座の日程調整の拙さから参加者があまり集まらない事態が起きてしまった。

市内の豆腐店に事業後にお話を伺ったところ、本団体の講座を受けて「おから」に興味を持って買いに来る方がいたようである。また、講座では当初の狙い通り家族で参加する方々も複数おり、幅広い年齢層にお話をすることができた。公式Line等のSNSでは家でメニューを作ってみたといった報告もあり、多くの参加者が満足していただいたようである。

以上のことから、食品の認知拡大といった目的はある程度達成できたといえる。しかし、対象食品の廃棄削減という目的において、講習会後の数日は実際に廃棄量が減少していたが次第に元に戻り、ひと月や1年単位で見ると誤差の範囲であるとのことだった。そのため、この目的を達成するにはより多くの方がその食品に注目して、活用方法を知る必要があると考えた。

5 今後の事業展開

今回の事業をより多くの方に参加してもらい目的を達成するには、①チラシを早期に準備し配布する②講座の日程を夏休みや冬休みといった参加しやすい日程にする③講座の日数を増やし参加の機会を作るといった改善が必要であると考えます。

また、今後似たような事業を行う際には上記の点を改善し、より多くの方が参加しやすい料理メニューであったり、料理をしないお話だけをする講習会を実施したりすることで廃棄される事の多い食品の認知拡大、食品の再利用や利用用途の再提案を行っていきたい。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 3,120	¥ 1,659	¥ 1,461	事業費の一部を団体の会計より拠出
	講習会参加費	¥ 100,000	¥ 45,000	¥ 55,000	1000円×45人分
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 103,120	¥ 46,659	¥ 56,461	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 203,120	¥ 146,659	¥ 56,461	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	¥ 34,800	¥ 5,200	外部講師謝礼 8700円×4回
	印刷製本費	¥ 18,510	¥ 12,412	¥ 6,098	チラシ①印刷 3000部×2.73円 チラシ②印刷 700部×6.03円
	使用料及び賃借料	¥ 10,560	¥ 3,520	¥ 7,040	新松戸市民センター料理教室 440円×4時間×2回
	食糧費	¥ 130,000	¥ 81,995	¥ 48,005	冷凍うどん 他
	消耗品費	¥ 550	¥ 10,202	¥ ▲9,652	インク 1900円×3個 他
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 199,620	¥ 142,929	¥ 56,691	
(その他経費)	交通費	¥ 3,500	¥ 0	¥ 3,500	
	印刷製本費		¥ 100	¥ ▲100	A3カラーコピー代 100円
	使用料及び賃借料		¥ 3,520	¥ ▲3,520	馬橋市民センター料理教室 440円×4時間×2回
	消耗品費		¥ 110	¥ ▲110	講師防寒用品
	その他経費の合計額 (E)	¥ 3,500	¥ 3,730	¥ ▲230	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 203,120	¥ 146,659	¥ 56,461	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 1,659	事業費の一部を団体の会計より拠出
	講習会参加費	¥ 45,000	講習会①8名 講習会②12名 講習会③9名 講習会④12名 講習会⑤4名 計45名(3歳以上)×1000円
	自己資金の合計額	¥ 46,659	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 146,659	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 34,800	講師謝礼 講師 山崎氏 8700円×4回
	印刷製本費	¥ 12,412	広報チラシの印刷代 チラシ①印刷 3000部×2.73円 チラシ②印刷 700部×6.03円
	使用料及び貸借料	¥ 3,520	会場使用料 講習会③④の実施分 新松戸市民センター料理教室 440円×4時間×2回
	食糧費	¥ 81,995	料理講習会用食材 米 1650円 他 (7/18 18点 3,839円、7/23 10点 3,993円、7/23 20点 4,795円、8/9 1点 354円、8/27 15点 3,485円、 8/27 18点 6,052円、12/1 9点 1,784円、12/2 21点 6,011円、12/2 13点 5,739円、12/3 15点 6,644円、 2/3 31点 9,339円、2/4 4点 725円、2/25 4点 1,244円、2/28 7点 4,525円、2/28 1点 966円) ・カレー・みそ等調味料 (7/23 4,050円、8/27 5,400円、12/2 4,500円、2/3 5,400円、2/28 3,150円)
	消耗品費	¥ 10,202	・インク×3個 6,270円 ・調理用消耗品 7/23 371円(キッチンタオル)、12/1 1,870円(デザートカップ、ペーパーカップ、クリーム絞り袋など) ・資料作成用品 660円(A3硬質カードケース、工作用紙) ・持ち帰り用品 1,031円(フリーザーバッグ(大)20枚入り ポリ袋 など)
		対象経費の合計	¥ 142,929
その他経費	印刷製本費	¥ 100	解説ポスター(A3コピー) 1枚×100円
	使用料及び貸借料	¥ 3,520	講習会①②の実施分 馬橋市民センター料理教室 440円×4時間×2回
	消耗品費	¥ 110	講師防寒用品(カイロ)110円
		その他経費の合計	¥ 3,730
	合 計 額	¥ 146,659	

みんなで育て、みんなで作る
沿道での食べられる景観事業

エディブルウェイプロジェクトチーム

活動状況報告書

1 事業名称 みんなで育て、みんなで作る 沿道での食べられる景観事業

2 実施主体

■団体名： エディブルウェイプロジェクトチーム

従事者数： 15名

団体概要： 沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりをし、収穫物を使った共食活動やものづくり活動を行うことで、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る。

3 事業の実施内容 （事業毎に記載）

(1) 事業内容

①タネ・苗配布交換会、植え替え活動（4-5月・9-10月）

日 付	作 業 内 容
4/23	講師との打ち合わせ（千葉大学）
4/29	参加者への植え替え案内（メール、ポスティング）
5/13	苗・タネ配布交換会、植え替え講座（千葉大学、参加者10名、スタッフ7名、交換会参加者20名）
5/14	植え替え活動、資材片付け運搬（千葉大学、各所）
5/24	講師、株式会社タカショー企画部、営業部の担当者様と意見交換（千葉大学）
8/11	内部打ち合わせ
9/6	ワシントン大学ランドスケープ学科 Hou 教授視察対応
9/17	講師との打ち合わせ（講師拠点）
9/24	参加者への植え替え案内（メール、ポスティング）
10/7	内部打ち合わせ（松戸市民会館）
10/22	苗・タネ配布交換会、植え替え講座、サイン作成・修理 （千葉大学、講座参加者6名、スタッフ6名、交換会参加者15名）

② タネ・育苗講座開催（9・3月）

日 付	作 業 内 容
4/15, 9/6	育苗活動 たねまき（参加者9名）
4/15-5/13, 9/6-10/22	苗配布交換会まで、各自自宅で育苗活動

③ 子ども向けクラフトワークショップ開催（12・3月）

日 付	作 業 内 容
9/13	講師と打ち合わせ（新松戸）
12/10	クラフトワークショップ開催（松戸三丁目東自治会館、参加者 11 名、付き添い保護者 5 名、スタッフ 3 名）
2/10	講師と打ち合わせ（椿の庭）
3/31	クラフトワークショップ開催（椿の庭、参加者 13 名、付き添い保護者 5 名、スタッフ 5 名）

④ ハーブクラフト講座開催（6・1月）

日 付	作 業 内 容
5/3	講師打ち合わせ（講師拠点）
6/11	ハーブクラフト講座（ハーブで虫除けチンキ・スプレーづくり、参加者 13 名、スタッフ 3 名）
10/21	講師打ち合わせ（オンライン）
12/17	参加者への植え替え案内（メール、LINE オープンチャット、ポスティング）
1/21	ハーブクラフト講座（ハーブオイル&ビネガーづくり、参加者 13 名、スタッフ 3 名）

(2) 事業内容のふりかえり

① タネ・苗配布交換会、植え替え活動について

今年度より、寄せ植えをすることで、プランターの土を入れ替えずに育てるリレー栽培の専門家を講師に招き、教えていただけることになりました。リレー栽培により、これまで、苦勞していた季節ごとの植え替え時期に行っていたプランターの土の入れ替え、天日干しの作業が不要になりました。講師との方との打ち合わせから、寄せ植え講座を有料の講座として位置付け、育苗は、アドバイスをいただき、有志メンバーで実施する整理としました。

講座は、小学生から、高齢者まで参加いただき、寄せ植えのリレー栽培のこつを学ぶことができました。寄せ植えは、花と野菜、ハーブを合わせて植えるため、景観面においても、通りからプランターの彩りを見る楽しさが増して、良い効果となりました。

将来的に、自立した運営となることを目指し、タネ・苗配布交換会とし、自宅で余っている苗やタネを持ってきていただく参加形態としました。庭で育ちすぎたハーブなどの苗や、タネなどを持ってきていただいたことで、植物の交換や、育て方などを教えあう、新しい交流のきっかけとなりました。

会場は、千葉大学園芸学部学生ホールを借り、場所代は発生しませんでした。また、配布・交換会では、どの種類のタネ苗があるか、当日まで把握できないため、これまで、郵送

回収していた植替え希望のアンケートはなしとし、当日あるものをお持ち帰りいただくことにしました。そのため、切手の購入はなくなりました。

②タネ取り・育苗講座開催について

計画では、育苗講座に講師を招く予定でしたが、育苗に関心があった方が少数であったことや、栽培講座の講師との打ち合わせから、育苗は、アドバイスをいただけることになったため、有志の「苗部」を立ち上げての活動となりました。小学生から大学生、大人まで9名が参加し、種まきの後、各家庭のベランダや庭で、苗を育てています。LINE グループで、苗の成長状況や、栽培の疑問点を共有して解決するなど、新しいコミュニティの活動となりました。マンション住民の参加もあり、新しい参加形態ができました。苗部で育てた苗は、①の苗配布交換会にて、希望者に配布、交換しました。

③ 子ども向けクラフトワークショップ開催

講師との日程調整により、12・3月の開催となりました。子ども向けでしたが、関心を持たれた大人の方にも参加いただき、幅広い世代でのワークショップとなりました。各回、エディブルウェイプロジェクトの解説を自作の紙芝居で、説明し、小さなお子さんにも、プロジェクトの取り組みを紹介することができました。身近な植物をつかった草花あそびの体験ができ、プロジェクトにも広がりがありました。

3月のワークショップは、12月のワークショップがきっかけで、コミュニティスペース椿の庭との共催での開催となり、場所代は発生しませんでした。

④ ハーブクラフト講座開催

講師との日程調整により、6月、1月の開催となりました。これまで、ハーブを育てても、使い方があまりわからず、育てただけになることが多かったのが、生活の中で、気軽に使うコツを学ぶことができました。ハーブの使い方をよく知ることで、育てるモチベーションの向上になっているようです。また、参加者にも好評で、自治会の集まりなどでも、ハーブ講座の内容が話題になっていたようです。ハーブ講座から、エディブルウェイの活動に関心を持ってくださる方がおり、来年度の苗部から参加していただけることになりました。

⑤ 情報発信（通年）

イベントのチラシを作成し、市内施設、地域の店舗、参加者へポスティング配布しました。Instagram、Facebook、LINE オープンチャット、メールで定期的に情報配信を行いました。

3月に活動記録、栽培方法や、クラフトの作り方をまとめた冊子を作り、参加者、地域住民に配布し、活動への理解と参加・協働を促進します。記録だけではなく、講座で学んだ植物の育て方や作り方のコツも掲載し、気軽に取り組むきっかけにもなればと思います。

新聞、ラジオで活動を取りあげていただいたことで、地域のみなさんから喜んでいただけたほか、埼玉からも、見学に来ている方がいたそうです。参加者の方が、プロジェクトの案内をしてくださったそうです。新潟県、神奈川県からも、問合せがあり、各地で、生活環境において一人一人が参加できる景観づくり、多世代にわたる地域交流のきっかけ、コミュニティづくりなどみどりのまちづくりの活動の参考となればと思います。

計画していた千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループと発行する瓦版は、昨年度をもって、グループとしての活動がなくなったため、瓦版での情報発信は致しませんでした。

【メディア掲載】

- ・2023/11/29 「食べられる道」づくり、生み出す人の縁, 朝日新聞
- ・2024/2/3 エディブルウェイ (食べられる道) を広める, 朝日新聞

4 事業成果について

- ・目標の達成と課題の解決について

目標①劣化しているプランター40個を刷新し、景観改善をはかる。
これまで使っていた大型のフェルトプランターを刷新する予定でしたが、廃盤で販売が終了しており、従来品と同程度に頑丈な代替品が見つけれませんでした。植え替え講師、プランターの販売元である株式会社タカショーの企画部、営業部の方と意見交換を行い、耐久性があり、リレー栽培に適する30L以上土が入る木製のプランターを試験的に地域拠点となる施設前などに3つ設置しました。

目標②新規参加者が5世帯10プランター増えることを目指す。
新規参加者は3世帯増えました。EW参加者の誘いや、ワークショップ参加がきっかけとなりました。

目標③現参加者とタネ取り、育苗を学び、植え替えをタネ・苗の交換会として開催する。
苗部を立ち上げ、ボランティアで育苗ができるようになりました。栽培知識を学び、植え替え時期の種・苗交換会に出す苗を育てることができました。交換会は、他にも、家に余っているタネや、ハーブの挿し穂、増えた苗などを持ってきてくれる参加者が6名いて、助成金がなくなったあとの継続性に貢献できる取り組みができたと思います。交換会は、参加者同士の交流にもなりました。

目標④コロナ禍で人が集まる機会が減った地域で、沿道で見て楽しむ、歩く楽しみを提供する。
リレー栽培を学んだことで、これまで苦勞していた土の入れ替えメンテナンス作業から解放されたことは、活動の成果として大きなものがあります。寄せ植えが、見た目にもよく、景観面でもよりよい手法を学ぶことができました。

目標⑤植物を用いたイベントの開催を通して、活動を継続するための知識共有・組織作りを進める。
講座に、専門的な知識を持つ外部講師を招いたことで、講座の内容が充実しました。ハーブ

クラフト講座では、クラフトを作るだけでなく、生活の中で、気軽にハーブを使うポイントを教えていただき、学びが多くあるとともに、栽培活動への意欲にもつながりました。また、プロジェクト対象である松戸駅周辺地域以外の松戸市内の地域からも参加があり、プロジェクトを市内の他の地域の方にも知っていただくきっかけとなりました。

・使用料及び賃借料が減額となった理由について

苗・タネ配布交換会、植え替え講座および、3月に開催した子ども向けクラフトワークショップ開催に、会場費用がかからなかったためです。

・印刷製本費が増額となった理由について

講座、イベント、活動内容を盛り込んで情報発信するために、当初予定していたより、ページ数が増えたためです。(20ページから32ページ)

5 今後の事業展開

・沿道での新規参加者の参加のきっかけは、既存の参加者の誘いや、紹介によるものでした。参加の輪が広がるためには、外への情報発信とともに、参加者の既存のつながりが重要であることを実感しました。

・自立的な活動運営のために、各家庭で育てたタネや苗の配布・交換会を開催し、お金をかけずに活動を継続する仕組みづくりを目指しています。交換会は、タネなどを持ち寄って分け合う以上に、植物に関する知識やエピソードで話が盛り上がり、参加者同士の交流のきっかけやつながりづくりとしてもよい活動となりました。

・各講座に、専門的な知識を持つ外部講師を招くことで、景観づくりとしても、学びの場づくりとしても、より充実した講座を提供し、地域に知識や技術を蓄積し、プロジェクトの継続性につなげたいと考えています。

・来年度は、みどりと花の課との協働事業が始まります。地域包括支援センターとの協力で、地域沿道に設置されている花壇でも、食べられる景観づくりを実施することになりました。既存の参加者に加え、町会、子ども会、地域包括支援センター、保育所など様々な主体と協力し、活動を展開できるように準備を進めています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	講座参加料	¥ 65,000	¥ 65,500	¥ ▲500	①植え替え講座 ¥500*10名、¥500*6名、③クラフトWS ¥500*11名、¥1000*13名④ハーブ講座 ¥1500*13名*2回
	団体拠出金	¥ 23,200	¥ 19,166	¥ 4,034	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 88,200	¥ 84,666	¥ 3,534	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 388,200	¥ 384,666	¥ 3,534	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	¥ 120,000	¥ 0	講座外部講師謝礼金 (20,000円*6回)
	消耗品費	¥ 139,800	¥ 148,226	¥ ▲8,426	事業用消耗品 ・種 (シカクマメ¥270、オクラ¥270、つるなしインゲン¥270、アルギュラ ロケット¥270、イタリアンパセリ¥270、ナスタチウム¥270) 他
	使用料及び賃借料	¥ 24,200	¥ 4,960	¥ 19,240	4/15育苗活動 (自治会館) ¥800、8/11、10/7打ち合わせ (松戸市民会館) ¥320*2、12/10クラフトワークショップ (自治会館) ¥1600、1/21ハーブ講座 (松戸市民会館) ¥1140、マイク ¥780
	食糧費	¥ 6,600	¥ 5,139	¥ 1,461	お茶代 (5月植え替え講座) ¥232、お茶代 (6月ハーブ講座) ¥500、お茶代 (10月植え替え講座) ¥254 他
	通信運搬費	¥ 3,360	¥ 0	¥ 3,360	
	印刷製本費	¥ 46,000	¥ 75,400	¥ ▲29,400	チラシ/資料コピー代：4/29 ¥560、10/22 ¥100、1/18 ¥160、チラシ印刷 (A4カラー片面)：10/17 (100部) ¥750 他
	保険料	¥ 2,240	¥ 1,000	¥ 1,240	3/31ワークショップ保険
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 342,200	¥ 354,725	¥ ▲12,525	
(その他経費)	お弁当代	¥ 8,000	¥ 7,000	¥ 1,000	植え替えスタッフ5/13 500円*8名、10/22 500円*6名
	植え替え資材運搬用交通費	¥ 5,000	¥ 9,027	¥ ▲4,027	レンタカー代 5/12 ¥4524、10/22 ¥4503
	交通費	¥ 28,000	¥ 7,760	¥ 20,240	講師 (片道¥1530*2=¥3060*2回、片道¥410*2=¥820*2回)
	ホームページサーバーレンタル・ドメイン	¥ 5,000	¥ 6,154	¥ ▲1,154	HPサーバー¥3960、ドメイン¥2194
	その他経費の合計額 (E)	¥ 46,000	¥ 29,941	¥ 16,059	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 388,200	¥ 384,666	¥ 3,534	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	講座参加料	¥ 65,500	①植え替え講座 ¥500*10名、¥500*6名、③クラフトWS ¥500*11名、¥1000*13名④ハーブ講座 ¥1500*13名*2回
	団体拠出金	¥ 19,166	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 84,666	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
	合 計 額	¥ 384,666	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	講座外部講師謝礼金（20,000円*6回）
	消耗品費	¥ 148,226	事業用消耗品 ・種（シカクマメ¥270、オクラ¥270、つるなしインゲン¥270、アルギュラ ロケット ¥270、イタリアンパセリ¥270、ナスタチウム¥270） ・育苗資材（育苗ポット¥1480*1、エコポット¥587*3） ・ラミネーター（¥8481） 他
	使用料及び賃借料	¥ 4,960	4/15育苗活動（自治会館）¥800、8/11、10/7打ち合わせ（松戸市民会館）¥320*2、12/10クラフトワーク ショップ（自治会館）¥1600、1/21ハーブ講座（松戸市民会館）¥1140、マイク¥780
	食糧費	¥ 5,139	お茶代（5月植え替え講座）¥232、お茶代（6月ハーブ講座）¥500、お茶代（10月植え替え講座）¥254、お茶代（1月ハーブ講座）¥700、お茶菓子代（クラフトワークショップ）¥3453
	印刷製本費	¥ 75,400	チラシ/資料コピー代：4/29 ¥560、10/22 ¥100、1/18 ¥160、チラシ印刷（A4カラー片面）：10月講座（100部）¥750、12月WS（50部）¥720、3月WS（100部）¥750、予定：A5 冊子300部32ページ@¥241.2 ¥72360（①～④参加者配布用 100部、地域関連施設配布用 50部、地域住民配布用 100部、市内イベント配布用 50部）
	保険料	¥ 1,000	3/31ワークショップ保険 1000円
	対象経費の合計	¥ 354,725	
その他経費	お弁当代	¥ 7,000	植え替えスタッフ5/13 500円*8名、10/22 500円*6名
	植え替え資材運搬用交通費	¥ 9,027	レンタカー代 5/12 ¥4524、10/22 ¥4503
	交通費	¥ 7,760	講師（片道¥1530*2=¥3060*2回、片道¥410*2=¥820*2回）
	HPサーバーレンタル・ドメイン	¥ 6,154	HPサーバー¥3960、ドメイン¥2194
	その他経費の合計	¥ 29,941	
	合 計 額	¥ 384,666	

「おひとりさま安心生活相談」事業

特定非営利活動法人

おひとりさま安心コンシェルジュ

活動状況報告書

1 事業名称 「おひとりさま安心生活相談」事業

2 実施主体

■団体名：特定非営利活動法人おひとりさま安心コンシェルジュ

従事者数：4名

団体概要：高齢者、高齢単身者、障がい者（以下「高齢者・障がい者等」という）が安心して日常生活が過ごせるように権利の擁護と財産の管理、福祉、介護等について支援することにより、高齢者等の福祉の増進に寄与すること

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①安心生活相談会（税金、年金、仕事等も含む）

日付	作業内容
5月19日	講演会の実施 テーマ：身寄りがない人のための身元保証や老後の備えの終活講座 成年後見制度、身元保証、介護制度など講演会。 来場者数：約30名
6月29日	終活おひとりさま安心相談会 ご本人の成年後見、死後事務などについての相談。 相談件数：6件
11月29日	終活おひとりさま安心相談会 ご本人の成年後見、死後事務などについての相談。それ以外に、自分の死後、子供たちの老後についての相談。 相談件数：5件

②周知活動

日付	作業内容
4月下旬 ～5月上旬	周知活動（地域包括支援センター訪問および福祉施設チラシ送付141件）
6月上旬	周知活動（包括支援センター訪問およびチラシ送付15件）
11月上旬	周知活動（包括支援センター訪問およびチラシ送付15件）

③相談会、周知活動後の面談等対応

日 付	作 業 内 容
4月～3月	希望や連絡のあったお困りのご本人および関係者（親族、ケアマネージャー、施設担当者等）と面談を実施し、今後の財産や事後事務をはじめ、成年後見利用などの方向性について具体的な相談を受ける。 全3件

(2)事業内容のふりかえり

①安心生活相談会（税金、年金、仕事等も含む）

講演会、相談会の参加者について、そのほとんどが松戸市の広報誌「広報まつど」への掲載を見た市民であった。

講演会は、当助成事業で対象としている独居高齢者を意味する“おひとりさま”高齢者の抱える諸問題を伝えることができた。

相談会については、おおむね1時間弱の限られた時間の中で、参加者それぞれが抱える“おひとりさま”の不安や問題点を丁寧に聞き取りながら、法的な問題の方向性を示すことができたことで、一定の安心感を醸成することができた。

②周知活動

周知活動について、初回は、地域包括支援センター以外にも福祉事業所にも実施したが、相談会の相談人数が限られているため、初回以降は地域包括支援センターに絞った。

③相談会、周知活動後の面談等対応

一定数の面談対応をすることができたことは、上記の相談会および周知活動の一定の成果に基づくものと考えている。

○計画から変更した点

・5月講演会を追加

講演会は、当法人の設立が1年満たないことから、多くの市民への周知をしたいと思いつから、参加人数が限られる相談会の実施だけでなく、多くの市民の方が参加できる形態として実施。

・食料費等は、相談会の形式を考慮した結果、特に提供する必要がないと判断したため支出をしなかった。

・2月の相談会の中止

メンバーの繁忙期と重なったため実施に至るまでの準備が足りなかったため中止。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

①高齢者（独居高齢者）や障がい者（その保護者）が直面する問題の解決と安心感の醸成

【年間30件以上の相談】

●周知活動や相談会等を通じて、20件以上となった。

広報まつどによる市民と直結した周知を行うことで、各相談会は定員一杯の予約でうまったことから、広報まつどでの周知を継続しつつ、当事業の認知を上げる方策を模索したい。

②松戸のケアマネジャーや福祉施設からの直接の相談【年間10件以上の相談】

●ケアマネジャー等からの直接の相談は、8件であった。

当助成事業の効果もあると認められるものの、従来からの成年後見後見活動からの経路もあることから、個人が訪れる相談会だけでなく、ケアマネジャーの方が興味を示す講演会などを開催し当事業の認知を上げるようにしたい。

③身元保証等が必要な高齢者（独居高齢者）に、適切なサービスを繋げる。

実体として、サービスにつなげることはなかったが、相談者の方々に、必要なサービスの意味を考えるきっかけを作りになったと考えている。

以上の成果から、広報まつどによる周知が強く「おひとりさま」への関心の高い市民による相談会参加の程度は高いものの、当事業の目的等の認識があまり周知されていないと言えることから、多くの方々にとって興味深い講演会や相談会の実施を重ねつつ、更にケアマネジャーとのかかわりが強い地域包括支援センターへの訪問を強めることで改善していきたい。

5 今後の事業展開

今後は、当事業の認知向上のために、方法や内容を変えつつ講演会・相談会の回数を増やす。

講演会は、成年後見などの法的な内容とともに、“おひとりさま”が必要もしくは興味をもつようなテーマ（たとえば、フレイル予防など）含めて実施する。

相談会については、広報まつどなどの広報誌への掲載だけでなく、自治会や老人会に相談会の実施の協力を仰ぎ、直接“おひとりさま”の方々との関係性を築いていく。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 51,920	¥ 18,445	¥ 33,475	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 51,920	¥ 18,445	¥ 33,475	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 15,075	¥ 84,925	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 151,920	¥ 33,520	¥ 118,400	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 7,920	¥ 990	¥ 6,930	相談会1回 相談会990円
	食糧費	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	相談会参加者のためのお茶菓子代 なし
	消耗品費	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	周知活動用封筒等、相談会用消毒筆記具等 なし
	印刷製本費	¥ 70,000	¥ 4,000	¥ 66,000	チラシ作製 チラシ 300枚 4000円
	委託料	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	パンフレットデザイン料 なし
	通信運搬費	¥ 36,000	¥ 11,760	¥ 24,240	切手代@84円×140施設 地域包括支援センターなど福祉施設140通分
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 151,920	¥ 16,750	¥ 135,170	
(その他経費)	使用料及び賃借料	¥ 0	¥ 16,770	¥ ▲16,770	講演会・相談会 会場・備品使用料
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 0	¥ 16,770	¥ ▲16,770	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 151,920	¥ 33,520	¥ 118,400	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 84,925
------------	----------

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 18,445	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 18,445	
市	市民活動助成金	¥ 15,075	
	合 計 額	¥ 33,520	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 990	相談会_市民劇場第3会議室_使用料（6/29）：990円
	印刷製本費	¥ 4,000	チラシ作製 チラシ300枚
	通信運搬費	¥ 11,760	切手84円切手140枚：地域包括支援センターおよび福祉施設へのチラシ等の郵送費
	対象経費の合計	¥ 16,750	
その他経費	使用料及び賃借料	¥ 16,770	講演会_会場使用料 11,000円 講演会_市民劇場（備品使用料）：第1・第2ボーダーライト1,100円、スポットライト（500W）220円、スポットライト（600W）160円、拡声装置1,100円、ワイヤレスマイク440円、演壇110円、液晶プロジェクター1,100円、スクリーン550円、持込器具に係る電気料110円 相談会_市民会館202会議室_使用料（11/29）：880円
	その他経費の合計	¥ 16,770	
	合 計 額	¥ 33,520	

四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業

小金原みんなでわくわくする会

活動状況報告書

1 事業名称 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業

2 実施主体

■団体名： 小金原みんなでわくわくする会

従事者数： 10名

団体概要： 本会は、次に掲げる活動を行うことにより、地域における身近な課題を住民の意思に基づき自主的に解決し、もって良好な地域社会の維持及び地域の発展に資することを目的とする。

- 1) 四世代全員参加の地域活動を通じた「ありがとう！」の街づくり
- 2) 現在の地域活動を SDGs 観点から整理、推進すること
- 3) 地域の SWOT（強み弱み）分析から、活動テーマを抽出し、具体的活動を立案、実行する。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

1) SDGs による現活動の整理・進化

①外部講師を招き、SDGs の考え方を基に具体的活動の抽出と活動計画の立案・実行

②SDGs 3・11 項目に関係した地域活動を見直すグループ別ワークショップの実施

日付	作業内容
5月21日	第5回 SDGs 勉強会（13名参加） 外部講師：江戸川大学 佐藤秀樹氏 3丁目チラシ配布、ポスター掲示（以下、6，7，8回同様）、4項目の活動テーマに絞ってグループ討議 ① 落葉の堆肥化、②町会館の活用化、③グリ・スロの活用化、④高齢者対応：「四世代交流会」の企画内容について討議。
7月23日	第6回 SDGs 勉強会（9名参加）、上記テーマ毎の具体的活動案について討議
7月28日	市民活動 PR ポスター作成・市役所展示
8月8日	江戸川大学佐藤先生研究室訪問 海外 SDGs 活動の紹介等（2名参加）
9月18日	第7回 SDGs 勉強会（9名参加）、活動の優先順位選定と整理
2月4日	第8回 SDGs 勉強会（13名参加）、活動報告スタート（テーマ①～④） ・テーマ①；町会内にあるやまばと公園にコンポスト設置、および、使い易い公園にするための改造について松戸市街づくり部公園緑地課へ相談した。（2/15）⇒計画案を作成して提案する ・テーマ②；他町会の会館使用料を調査し、活用し易い使用料の見直し。

	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ③；実際に乗車して、利便性確認し、改善案を検討する ・テーマ④；エンディングノート作成、勉強会（第1回）（ポスター配布、掲示）
--	--

2) 町内会の SWOT 分析作成による活動マトリックス作成

前年度 SDGs 勉強会での SWOT 分析を通して、全世代を一堂に会したコミュニケーションの場を設けることが先ず必要との認識の下、「四世代交流会」を企画した。これは、当会の目標でもあり、結果的にテーマ④に繋がっている。

「四世代交流会」（6 歳新入学児童、18 歳成人、70 歳古希の集い）準備および開催

日 付	作 業 内 容
R5.1月10日	根木内小学校に体育館の使用お願い※事業開始前に実施
R5.2月18日	お祝い挨拶、封筒準備※事業開始前に実施
R5. 3月5、19日	前打合せ；準備事項と担当割当て決定※事業開始前に実施
5月21日	ブレインストーミング（第5回 SDGs 勉強会（13名参加） 外部講師：江戸川大学 佐藤秀樹氏）；「四世代交流会」により参加者も巻き込んだ音楽会を企画する。
6月4日	前打合せ；担当、役割確認、進捗確認
6月12日	PR チラシ作成、配布
6月10日	前打合せ、袋詰め等準備
6月15日	根木内小学校体育館確認と校長先生挨拶
6月18日	交流会実施；小学入学祝、成人式、古希の合同祝い、於 根木内小学校体育館、バンド演奏、マリンバ演奏、ビンゴゲーム、合唱

3) その他活動

日 付	作 業 内 容
10月31日	千葉県民活動 PR に応募；ポスター提示
12月9日	松戸みらい会議出展；ポスター提示し、他組織の活動内容把握と情報交換を行った
12月26、27日	歳末防犯パトロール（町会と合同）
1月25日	松戸市主催第1回まつど SDGs 推進セミナー参加
2月15日	松戸市主催第2回まつど SDGs 推進セミナー参加
2月17日	まつど SDGs フォーラム参加
通年	ごみ箱の整理整頓、扉開閉不具合の点検・修理

(2) 事業内容のふりかえり

<p>1) SDSs による現活動の整理・進化について</p> <p>① 外部講師を招き、具体的活動の抽出と活動計画の立案・実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良かった点；SWOT（強み弱み）分析をしたことで、具体的活動テーマを4項目に絞って、
--

漸く SDGs 活動が、単なる勉強会でなく実行段階まで来た。

- ・反省点；SDGs の活動会を年間 4 回行って来たが、参加者は限定的であり、住民全体の共通意識というまでには至っていない。特に若年層への浸透が十分でなく、更に仕掛けづくりを工夫する必要がある。

② グループ別ワークショップの実施

- ・良かった点；SWOT（強み弱み）分析をグループ討議にして、みんなで書き出すことにより、自分が住む小金原の良いところ、不便なところを再認識することができた。
- ・反省点；SDGs の活動テーマ 4 点は、設定したが、当初、1 点毎にグループ化してグループリーダーを決めて活動計画を立案する構想であったが、参加者が 10 数名のため、2 テーマを 1 グループとして、活動することとした。

また、年間計画としてスタート時に目標をしっかり設定して実行していくというやり方に慣れていない参加者もあり、徹底させるのは難しいため、まずやれることを 1 歩 1 歩進める形で、着手した。

2) 町内会の SWOT 分析作成による活動マトリックス作成

当初は、SWOT 分析作成による活動マトリックス作成のため、団体内で検討していたが、実践のためには、世代を超えてコミュニケーションをとることがまず必要という認識となった。結果として、活動マトリックスの作成は見送り、四世代交流会を実施することとした。

「四世代交流会」（三丁目町会と共催）（62 名参加）

- ・良かった点；四世代交流会として、地元の小学校体育館を借りて、小学入学児童から古希の高齢者までを一堂に会し、地元の音楽演奏者に演奏頂くことで「文化の街」として、アピールできたと同時に、世代交流の輪が芽生えた。
- ・反省点；初めての試みで参加者は 62 名（子供 7 名、女性 38 名）であった。構成内容を見直し、事前準備と PR により更に参加者を増やして、地域のモデル会としたい。

会館等の使用料がかからなかった点について

参加者多数の場合に小金原会館の使用を想定していたが、特に参加人数に問題無く、使用しなかったため。

印刷製本費が減額となった理由について

PR チラシ以外は全て団体で印刷したため、当初計画より減額となった

3) その他

- ・反省点；松戸市防災センターの見学・体験会を計画したが、町会活動等も有り、日程調整ができず R6 年度に繰越し。（7/28 計画）

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

1. SDGs 活動の地域浸透：

目標 全構成員 10 名、地域住民 10 名

結果 全構成員 8 名、地域住民 3 名

1)SDGs 活動年 4 回実施の定例化はできたが、参加者が限定的のため、町会年度役員（地区長、班長）への周知のため、チラシの掲示、回覧・配布だけでなく LINE の登録制（現在、構成員および町会本部役員のみ）を検討する。

2. まちの長短所 SWOT 分析：

目標 全構成員 10 名、地域住民 10 名

結果 全構成員 8 名、地域住民 3 名

参加者は目標には及ばなかったものの、2 グループに分かれた参加者が、まちの長短所を模造紙に書き出し、その中から 4 項目の活動テーマに絞り込むワークを行った。

四世代交流会については、地元小学校体育館で実施し 62 名の参加者で、地元の音楽バンドを中心にそれなりの世代一体感は共有できた。今回は好評であったため第一回とし、次回第二回は更に参加者増員のため、開催を令和 6 年 10 月 27 日として、期内準備期間を十分取り、周知徹底させる予定。

また、近隣のやまばと公園でのバーベキュー等同時開催として盛り上げる。

3. 目標：SWOT 分析表の完成：各 SDGs 活動会の活動内容について、掲示板及び回覧板に掲載周知。

結果：活動のテーマとして 4 項目に絞ることができた。周知による参加者増員は未達。

4. 実行計画書の作成とグループ活動：次年度に向けて年間活動計画の策定を目論んだが、50%の完成。当面の活動については、①公園コンポスト設置について市の街づくり部公園緑地課に相談、②町会館の使用料見直し、③グリスロの乗車体験、④エンディングノート勉強会開催、と個々に取り組み開始。

年度の実行計画については、フレキシブルに対応させて、できることから進め、成果を出すことにより、次の実践に結び付けたい。

5. 具体的活動の実施：実施状況進捗を掲示板及び回覧板に掲載（上記 1）項）、活動計画 80%完成させる（上記 4）項）。→活動参加者不足で、実践活動、具体化の遅れが発生しているが、今後 1)項の通り、参加者の増員を図ると同時に、グループ正・副リーダーを決めて、彼らを核として実践する体制としたい。

5 今後の事業展開

これまで地域活動をSDGs及びSWOT分析の観点で解釈した。令和6年度以降は、以下の活動を中心に具体的活動を推進・展開する予定。

コンポスト；やまばと公園の使用許可を取得のため、提案図面を作成して関係部署との協議を進める。併せて、花き栽培についても具体的なレイアウトを作成する。

- ① 町会館の活用化；使用費用を安価にし、併せて、市民に開館を使用する催事、市民講座等企画する。
- ② グリ・スロの活用化；ルート、時間表について、“足”が必要な高齢者、ハンデ者へ回覧、周知方法を検討する。（民生委員と協調）
- ③ 四世代交流会；1回目の経験を生かして、多くの住民が参加できる様、事前の周知、呼びかけと魅力あるメニューとして、音楽演奏、ビンゴ、合唱・ダンス、バーベキューを組み入れる。（目標80名）

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 60,000	¥ 18,384	¥ 41,616	事業費の一部を団体会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 60,000	¥ 18,384	¥ 41,616	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 160,000	¥ 118,384	¥ 41,616	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	外部講師謝礼：25000×4回
	消耗品費	¥ 7,540	¥ 9,444	¥ ▲1,904	SDGs, SWOT勉強会 インクカートリッジ：5748 コピー用紙：3696
		¥ 5,940	¥ 2,200	¥ 3,740	ブレインストーミング (SWOT分析で抽出した案件→SDGs テーマ) 模造紙：660 模造紙、マーカー：1540
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 1,253	¥ 18,747	PRチラシ60部 PRチラシ以外は団体に印刷したため、減額
	使用料及び賃貸料	¥ 6,664	¥ 0	¥ 6,664	町会館使用により計上無し (当初、参加者多数の場合に小金原会館使用を想定)
				¥ 0	
				¥ 0	
		対象経費の合計 (D)	¥ 140,144	¥ 112,897	¥ 27,247
その他経費 (対象外)	食糧費	¥ 13,062	¥ 5,487	¥ 7,575	勉強会お茶代：5487
	除菌液	¥ 2,400	¥ 0	¥ 2,400	コロナ鎮静化のため非購入
	雑費	¥ 4,394	¥ 0	¥ 4,394	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 19,856	¥ 5,487	¥ 14,369	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 160,000	¥ 118,384	¥ 41,616	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 18,384	事業費の一部を団体会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 18,384	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 118,384	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 100,000	講師謝礼 佐藤秀樹先生：25,000x4回
	消耗品費	¥ 9,444	SDGs, SWOT勉強会 コピー用インクカートリッジ：698, 698, 708, 1478 小計3582 コピー用インクカートリッジ：2166 コピー用紙（両面用）：3696
		¥ 2,200	ブレインストーミング（SWOT分析で抽出した案件→SDGsテーマ） 模造紙：660 模造紙、マーカー：1540
	印刷製本費	¥ 1,253	SDGs勉強会開催PRチラシ60部：1253
	対象経費の合計	¥ 112,897	
その他 経費	食糧費	¥ 5,487	参加者お茶代 第5回SDGs勉強会：1058 第6回SDGs勉強会：842, 2000 第7回SDGs勉強会：0 第8回SDGs勉強会：1587
	その他経費の合計	¥ 5,487	
	合 計 額	¥ 118,384	

[生きづらさ・ひきこもり] 一人ひとりに合わせて
つながりが広がる事業

生きづらわーほりプロジェクト

活動状況報告書

1 事業名称 [生きづらさ・ひきこもり] 一人ひとりに合わせてつながりが広がる事業

2 実施主体

■団体名： 生きづらわーほりプロジェクト

従事者数： 22人

団体概要： ひきこもり当事者など生きづらさを抱えた人が、孤立を解消し、生きづらさを和らげ、生き生きと暮らしていけるようにするため、下記の観点で一連の仕組みを設け、当事者一人ひとりの行動をアシストすることを目指して活動している。

- ・当事者が安心して過ごせる・話せる・参加できる場を多くつくる
- ・そのような場があることを当事者に伝える
- ・当事者が場に出ていきやすいようにサポートする
- ・場とつながった当事者を見守りフォローする

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①生きづら Cooking-Meeting 「つたわり」

日 付	作 業 内 容
5月14日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者5人(うちオンライン参加2人)
5月28日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者3人(うちオンライン参加1人)
6月25日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者5人(うちオンライン参加0人)
7月23日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者2人(うちオンライン参加0人)
8月27日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者3人(うちオンライン参加0人)
9月24日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者0人(うちオンライン参加0人)
10月22日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参

	加者 2 人（うちオンライン参加 0 人）
11 月 26 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 4 人（うちオンライン参加 0 人）
12 月 24 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 3 人（うちオンライン参加 0 人）
2 月 4 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 6 人（うちオンライン参加 1 人）
2 月 23 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 3 人（うちオンライン参加 1 人）
3 月 24 日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者 3 人（うちオンライン参加 0 人）

②風の家「はう」

日 付	作 業 内 容
4 月 8 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 9 人
4 月 22 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 5 人
5 月 13 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 3 人
5 月 27 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 5 人
6 月 10 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 7 人
6 月 24 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 5 人
7 月 8 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 6 人
7 月 22 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 8 人
8 月 12 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 6 人
8 月 26 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 6 人
9 月 9 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 6 人
9 月 23 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 6 人
10 月 14 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 7 人
10 月 28 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 11 人
11 月 11 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 5 人
11 月 25 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 14 人
12 月 9 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 8 人
12 月 23 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 7 人
1 月 13 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 9 人
1 月 27 日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン 2 階 参加者 10 人
2 月 10 日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者 10 人

2月24日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン2階 参加者8人
3月9日	イベント「はう」の開催 コミュニティカフェ Choshiya 参加者6人
3月23日	イベント「はう」の開催 常盤平いきいきサロン2階 参加者7人

③たい肥づくり・ハーブ栽培によるつながりづくり

日付	作業内容
随時	口頭での告知 参加者0人

④プレゼンテーション練習会

日付	作業内容
9月30日	プレゼンテーション講習&練習会「プレれん」(1日目)の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者6人
11月5日	プレゼンテーション講習&練習会「プレれん」(2日目)の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人
2月25日	プレゼンテーション講習&練習会「プレれん」(1日目)の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人
3月10日	プレゼンテーション講習&練習会「プレれん」(2日目)の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人

(2)事業内容のふりかえり

①生きづら Cooking-Meeting「つたわり」については、計画通りの内容で5月から計12回開催しました。参加されたひきこもり当事者・経験者と料理を作るか相談して、みんなで買い物から調理まで一緒に行い、会話しながら食事を楽しむ場を作りました。

「つたわり」を実施するにあたっては、食事・会話の時間に遠隔からでも参加できるようオンライン会議（ZOOM）を並行して開催しました。

②風の家「はう」については、計画通りの内容で4月から毎月2回の計24回開催しました。ひきこもり当事者・経験者等が集まって、スタッフとの個別相談のほか、参加者同士で会話をしたり、本を読んだりして、ゆっくりとリラックスできる場を作りました。参加者用のお茶菓子費用については計画時に未記載であったため、追加計上しました。

③「たい肥づくり・ハーブ栽培によるつながりづくり」については、口頭レベルでの告知にとどまってしまいました。運営体制面において想定していた人手が確保できず、十分な告知ができなかったため、計画通りに進めることができませんでした。

④「プレゼンテーション練習会」については、計画通りの内容で1回目（9月、11月）、2回目（2月、3月）の計4回開催しました。2日間のイベントで、1日目は講師によるコミュニケーションとプレゼンテーションに関する講習、2日目は参加者がそれぞれ準備してきたプレゼンテーションを実施するという内容で実施しました。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

・社会につながろうとするひきこもり当事者が増える。

【「つたわり」参加人数 72人（各回平均6人）】

→結果：39人

参加人数は目標に達しませんでした。繰り返し参加される当事者が多くいらっしゃいました。「つたわり」に参加された方が、続けて風の家「はう」やプレゼンテーション講習&練習会「プレれん」にも参加されるなど。この場を楽しんで過ごすだけでなく、ここから次につながるという面でも機能しました。

【「はう」参加人数 72人（各回平均3人）】

→結果：174人

参加者が想定を大きく上回りました。昨年度、参加者から開催回数を増やしてほしいという声があり、今年度は月2回の開催にしました。社会参加のストレスを感じていたところ、こういった場は貴重だということで参加されている方がいるなど、毎回多くの参加があり、改めてニーズの高さを感じました。

【たい肥づくり・ハーブ栽培参加人数 15人】

→結果：0人

ひきこもり支援者等関係者に対してスライドなどでお知らせしましたが、直接、当事者に情報を伝えるところまでは至りませんでした。

・当事者の社会参加に対する自信と行動する意欲を高める。

【プレゼンテーション練習会参加人数 16人（各回平均8人）】

→結果：11人

学びや経験を得ようと参加者が積極的な姿勢で参加されていました。そのため、参加して自信や気づきなどを得られたと考えられます。参加者の中には2回の練習会に続けて参加された方もおり、発表内容も2回目にはさらにレベルが上がっていました。いわゆる「居場所」から次に進むためのサポートとして、一つの形ができました。

5 今後の事業展開

風の家「ほう」については、参加者が非常に多いことを踏まえ継続して開催をしていきたいと考えています。

「つたわり」「たい肥づくり・ハーブ栽培」「プレゼンテーション練習会」の各事業については、本年度で一旦休止にして、松戸市の周辺の市町村にも団体の活動エリアを広げていくことに注力していきます。また機会があれば、実施していきたいという考えもあります。

地域の他の市民団体等との関係構築については、今後もこれまで同様引き続き取り組み、連携した活動など、ひきこもり当事者をサポートする活動についてアイデアを出していきたいと考えています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 56,540	¥ 65,944	¥ ▲9,404	事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわり」参加費	¥ 21,600	¥ 6,484	¥ 15,116	参加費 6,484円
	「はう」参加費	¥ 7,200	¥ 700	¥ 6,500	参加費 700円
	「プレゼンテーション練習会」参加費	¥ 8,000	¥ 5,500	¥ 2,500	参加費 5,500円
	自己資金の合計(A)	¥ 93,340	¥ 78,628	¥ 14,712	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 254,047	¥ 45,953	←精算額
合計額(C) = (A+B)		¥ 393,340	¥ 332,675	¥ 60,665	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	外部講師謝礼(プレゼンテーション練習会) 25,000円×1人×2日×2回
	消耗品費	¥ 49,520	¥ 1,043	¥ 48,477	紙コップ 646円、 セロテープ 376円
	食糧費	¥ 100,000	¥ 80,497	¥ 19,503	食材、飲み物(つたわり) 39,697円 参加者用お茶菓子(プレゼンテーション練習会) 2,261円 参加者用お茶菓子(風の家「はう」) 38,539円
	印刷製本費	¥ 10,120	¥ 4,020	¥ 6,100	チラシ印刷(風の家「はう」) 2,550円 コピー代(つたわり) 160円 コピー代(風の家「はう」) 1,310円
	使用料および賃借料	¥ 83,300	¥ 96,715	¥ ▲13,415	会場使用料(つたわり まつど市民活動サポートセンター調理室) 22,800円 会場使用料(風の家「はう」 常盤平いきいきサロン2階) 15,300円 会場使用料(風の家「はう」 コミュニティカフェ Choshiya) 34,500円 会場使用料(プレゼンテーション練習会 まつど市民活動サポートセンター 会議室) 3,520円 オンライン会議(ZOOMプロ 年間使用料) 20,595円
	対象経費の合計(D)	¥ 342,940	¥ 282,275	¥ 60,665	
(その他経費)	交通費	¥ 50,400	¥ 50,400	¥ 0	運営メンバーの交通費(つたわり) 600円×2人×12回
				¥ 0	運営メンバーの交通費(風の家「はう」) 600円×2人×24回
				¥ 0	運営メンバーの交通費(プレゼンテーション練習会) 600円×3人×2日×2回
	その他経費の合計額(E)	¥ 50,400	¥ 50,400	¥ 0	
合計額(F) = (D+E)		¥ 393,340	¥ 332,675	¥ 60,665	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 45,953
------------	----------

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 65,944	事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわり」参加費	¥ 6,484	参加費設定なし×12回開催 延べ39人参加 (※参加費は参加者自身が設定する方式にて実施)
	「はう」参加費	¥ 700	参加費設定なし×24回開催 延べ174人参加 (※参加費は参加者自身が設定する方式にて実施)
	「プレゼンテーション練習会」参加費	¥ 5,500	第1回参加者 500円×6人 第2回参加者 500円×5人
	自己資金の合計額	¥ 78,628	
市	市民活動助成金	¥ 254,047	
	合 計 額	¥ 332,675	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	講師謝礼 阿部剛 25,000円×4回 (プレゼンテーション練習会 9/30、11/5、2/25、3/10)	
	消耗品費	¥ 1,043	紙コップ 646円 (4/4 206円 6/10 110円 9/9 376円 10/14 110円 12/9 110円 1/27 110円) ゼロテープ 376円 (9/9 376円)	
	食糧費	¥ 80,497	食材、飲み物(つたわり) 39,697円 (5/14 3,541円 5/28 2,074円 6/25 5,840円 7/23 3,586円 8/27 2,142円 10/22 2,967円 11/26 3,459円 12/24 3,568円 2/4 4,587円、1,161円 2/23 3,659円 3/24 3,113円) 参加者用お茶菓子(プレゼンテーション練習会) 2,261円 (9/30 171円 11/5 871円 3/10 1,219円) 参加者用お茶菓子(風の家「はう」) 38,539円 (4/4 1,752円 4/8 447円 4/22 447円 5/13 1,734円 5/27 1,455円、138円 6/10 1,502円 6/24 457円 7/8 1,137円 7/22 820円 8/12 1,181円 8/26 1,077円 9/9 1,488円 9/23 1,034円 10/14 1,797円 10/28 1,735円、265円 11/11 2,291円 11/25 1,473円、 265円 12/9 2,137円 12/23 1,473円 1/13 2,223円、714円 1/27 1,421円、628円 2/10 1,958円 2/24 1,429円 3/9 2,064円 3/23 1,410円、587円)	
	印刷製本費	¥ 4,020	チラシ印刷(風の家「はう」) 2,550円 コピー代(つたわり) 160円 (5/25 10円×16枚=160円) コピー代(風の家「はう」) 1,310円 (1/27 10円×40枚=400円 2/10 10円×11枚=110円 2/24 10円×60枚=600円 3/9 10円×20枚=200円)	
	使用料および賃借料	¥ 96,715	会場使用料(つたわり まつど市民活動サポートセンター 調理室) 22,800円 (5/14 380円×5時間=1,900円 5/28 380円×5時間=1,900円 6/25 380円×5時間=1,900円 7/23 380円×5時間=1,900円 8/27 380円×5時間=1,900円 9/24 380円×5時間=1,900円 10/22 380円×5時間=1,900円 11/26 380円×5時間=1,900円 12/24 380円×5時間=1,900円 2/4 380円×5時間=1,900円 2/23 380円×5時間=1,900円 3/24 380円×5時間=1,900円) 会場使用料(風の家「はう」 常盤平いきいきサロン2階) 15,300円 (4/21 300円+100円×6人=900円 5/27 300円+100円×9人=1,200円 6/24 300円+100円×9人=1,200円 8/26 300円+100円×8人+300円=1,400円 9/23 300円+100円×10人=1,300円 10/28 300円+100円×15人=1,800円 11/25 300円+100円×17人=2,000円 12/23 300円+100円×11人=1,400円 1/27 300円+100円×12人=1,500円 2/24 300円+100円×10人=1,300円 3/23 300円+100円×10人=1,300円) 会場使用料(風の家「はう」 コミュニティカフェChoshiya) 34,500円 (4/8 500円×3時間×2=3,000円 5/13 500円×3時間=1,500円 6/10 500円×3時間×2=3,000円 7/8 500円×3時間×2=3,000円 8/12 500円×3時間×2=3,000円 9/9 500円×3時間×2=3,000円 10/14 500円×3時間×2=3,000円 11/11 500円×3時間×2=3,000円 12/9 500円×3時間×2=3,000円 1/13 500円×3時間×2=3,000円 2/10 500円×3時間×2=3,000円 3/9 500円×3時間×2=3,000円) 会場使用料(プレゼンテーション練習会 まつど市民活動サポートセンター 会議室) 3,520円 (9/30 220円×4時間=880円 11/5 220円×4時間=880円 2/25 220円×4時間=880円 3/10 220円×4時間=880円) オンライン会議(ZOOMプロ 年間使用料) 20,595円	
	対象経費の合計	¥ 282,275		
	その他経費	交通費	¥ 50,400	
		その他経費の合計	¥ 50,400	
		合 計 額	¥ 332,675	

ときわだいらオープンアトリエ事業

特定非営利活動法人

ディープデモクラシー・センター

活動状況報告書

1 事業名称 ときわだいらオープンアトリエ事業

2 実施主体

■団体名： 特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター

従事者数： 11名

団体概要： 社会の多様性を重視し、自治・自律・自給型地域づくりを推進する個人、市民団体に対してその活動の助言、支援に関する事業、および、その人材の育成に関する事業を行い、もって住民参加による市民社会の成熟、発展に寄与することを目的とし、活動しています。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①ときわだいらくらしラボ・セミナーの実施

日 付	作 業 内 容
4月～	事業企画打ち合わせ・広報活動
6月17日	セミナー1「老いと演劇のワークショップ」実施 会場 常盤平市民センター・第一会議室 講師 菅原直樹（「老いと演劇」OiBokkeShi） 参加者 18名 内容 演劇体験を通じて、認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップの実施
7月30日	セミナー2「ときわだいらドラムサークル」実施 会場 森のホール21・リハーサル室1 講師 野田憲一（GROOVE CONNECT） 参加者 28名 内容 初めの方でも気軽に参加できるドラムサークル体験会の実施
2月23日	セミナー3「写真のチカラ、アルバムのチカラ」実施 会場 常盤平市民センター・第一会議室 講師 浅田政志さん(写真家) 参加者 13名 内容 東日本大震災での写真洗浄の活動から見てきた、写真のチカラ、アルバムのチカラについての講演会の実施

②ときわだいらオープンアトリエの実施

日 付	作 業 内 容
4月～	事業企画打ち合わせ・広報活動
6月1日	オープンアトリエ実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 加納基成 参加者 4名 内容 木版画
7月6日	オープンアトリエ実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 加納基成 参加者 4名 内容 アクリル絵画
8月2日	オープンアトリエ実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 菊田美智代 参加者 4名 内容 パステル画1
9月4日	オープンアトリエ実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 菊田美智代 参加者 4名 内容 パステル画2
10月14日	オープンアトリエ実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 加納基成 参加者 5名 内容 コラージュ
11月26日	オープンアトリエ実施 会場 常盤平市民センター・ホール 講師 新井秀樹（たのたのじゅく） 参加者 34名（無料） 内容 折り染め・マーブル染めをときわだいら0円マーケットに合わせて実施
12月28日	オープンアトリエ実施 会場 ときわだいらくらしラボ

	講師 加納基成 参加者 6名 内容 トイカメラ
--	-------------------------------

③ときわだいらドラムサークルの実施

日 付	作 業 内 容
4月～	事業企画打ち合わせ・広報活動
6月1日	会場 TOSS（ときわだいらセイファースペース） 参加者 18名 内容 ドラムサークルの実施
7月6日	会場 TOSS（ときわだいらセイファースペース） 参加者 19名 内容 ドラムサークルの実施
8月2日	会場 TOSS（ときわだいらセイファースペース） 参加者 14名 内容 ドラムサークルの実施
9月4日	会場 TOSS（ときわだいらセイファースペース） 参加者 16名 内容 ドラムサークルの実施
10月14日	会場 TOSS（ときわだいらセイファースペース） 参加者 11名 内容 ドラムサークルの実施
11月26日	会場 常盤平市民センター・ホール 参加者 26名 内容 ドラムサークルの実施
12月28日	会場 TOSS（ときわだいらセイファースペース） 参加者 19名 内容 ドラムサークルの実施

(2) 事業内容のふりかえり

○ときわだいらくらしラボ・セミナーのふりかえり

素晴らしい講師をお招きし、充実したセミナーを開催することができた。

○ときわだいらオープンアトリエのふりかえり

地域に開かれた場で、多様な表現手段を経験することができ、計画通りの事業ができた。

○ときわだいらオープンドラムサークルのふりかえり

これまで経験のなかった方々、幅広い年齢の方々の参加があり、計画通りの事業ができた。

○全体のふりかえり

地域の内外から、様々な方々の参加があり、当初のイメージ通りの事業が展開できた。

4 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

【目標】セミナーの参加者のべ60人

【結果】セミナーの参加者のべ59名

これまで、あまり千葉に来ることのなかったような先進的な講師を招いて、地域への文化的な発信をすることができ、地域のなかに新しいつながりが生まれた。

【目標】オープンアトリエの参加者のべ100人

【結果】オープンアトリエの参加者のべ61名

参加者数の目標は達成できなかったが、リピート率が高いこともあり、今後の参加者増への取り組みにより、さらに展開していけるものとする。

【目標】ドラムサークルの参加者のべ70人

【結果】ドラムサークルの参加者のべ123人

参加者数の目標も達成でき、リピート率も高いこともあって、今後の参加者増への取り組みにより、さらに展開していけるものとする。

5 今後の事業展開

現段階では、永く続けていくことが、いちばんの広報になると考えており、毎月毎月、オープンアトリエや、ドラムサークルを実施していこうと考えている。

収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 168,500	¥ 124,416	¥ 44,084	事業費の一部を団体の会計より拠出
	オープンアトリエ参加費 (材料費)	¥ 40,000	¥ 5,400	¥ 34,600	@200×27人
	セミナー参加費	¥ 60,000	¥ 59,000	¥ 1,000	@1,000×59人
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 268,500	¥ 188,816	¥ 79,684	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 568,500	¥ 488,816	¥ 79,684	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費 (セミナー講師謝金)	¥ 250,000	¥ 250,000	¥ 0	ワークショップ講師謝礼 (100,000)、ドラムサークル講師謝礼 (70,000)、2/23講演会講師謝礼 (80,000)
	使用料及び賃借料 (会場費(セミナー会場費))	¥ 20,000	¥ 12,390	¥ 7,610	ワークショップ (1,540)、ドラムサークル (5,610)、2/23講演会 (5,240)
	使用料及び賃借料 (会場費(ドラムサークル会場費))	¥ 21,000	¥ 21,000	¥ 0	@3,000×7回
	印刷製本費	¥ 50,000	¥ 11,380	¥ 38,620	ドラムサークル (4,420)、2/23講演会 (6,960)
	委託料	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ 0	チラシデザイン @10,000×5種 (セミナー3回、オープンアトリエ、ドラムサークル)
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 16,546	¥ 33,454	手提げ袋、他消耗品、木材ほか
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 441,000	¥ 361,316	¥ 79,684	
(その他経費 対象外)	交通費	¥ 85,000	¥ 85,000	¥ 0	当日スタッフの交通費 1,000円*5人*17回
	食料費	¥ 42,500	¥ 42,500	¥ 0	当日スタッフの昼食代 500円*5人*17回
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 127,500	¥ 127,500	¥ 0	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 568,500	¥ 488,816	¥ 79,684	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
------------	-----

別紙 1

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 124,416	事業費の一部を団体の会計より拠出
	オープンアトリエ参加費(材料費)	¥ 5,400	@200×27人
	セミナー参加費	¥ 59,000	@1,000×59人
	自己資金の合計額	¥ 188,816	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
合 計 額		¥ 488,816	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	報償費(セミナー講師謝金)	¥ 250,000	6/17ワークショップ講師謝礼(100,000)、ドラムサークル講師謝礼(7回)(70,000)、2/23講演会講師謝礼(80,000)	
	使用料及び賃借料(会場費(セミナー会場費))	¥ 12,390	ワークショップ(1,540)、ドラムサークル(5,610)、2/23講演会(5,240)	
	使用料及び賃借料(会場費(ドラムサークル会場費))	¥ 21,000	@3,000×7回	
	印刷製本費	¥ 11,380	ドラムサークル(4,420)、2/23講演会(6,960)	
	委託料	¥ 50,000	チラシデザイン @10,000×5種(セミナー3回、オープンアトリエ、ドラムサークル)	
	消耗品費	¥ 16,546	手提げ袋、他消耗品、木材ほか	
		対象経費の合計	¥ 361,316	
その他経費	交通費	¥ 85,000	当日スタッフの交通費 1,000円*5人*17回	
	食料費	¥ 42,500	当日スタッフの昼食代 500円*5人*17回	
	その他経費の合計	¥ 127,500		
合 計 額		¥ 488,816		

「まつどの介護」プロモーション事業

特定非営利活動法人 SmileResource

介護保険課

活動状況報告書

1 事業名称 「まつどの介護」プロモーション事業

2 実施主体

■団体名： 特定非営利活動法人 SmileResource

従事者数： 2人

団体概要： 当法人は、国民の超高齢化が増す中、近い将来に迫る介護離職の増加を防ぐため、介護人材発掘及び就業・定着促進事業、仕事と介護の両立サポート事業や障がいの有無や世代に関わらず、その人が自立した生活を送ることをサポートする自立支援サポート事業等を実施し、介護離職0の社会づくりへの貢献と地域福祉の発展に寄与することを目的とし活動しております。

■事業担当課： 介護保険課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・動画制作における、企画・撮影・編集
- ・ボランティア（学生等）との連携

■担当課の役割

- ・総合企画（監修・市役所内の他課や介護系団体、学校等への紹介など）
- ・活動の市民などへの周知

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

市内の介護支援体制（行政・事業・市民活動等）をPV化し、松戸市公式サイトにアップロードするため、下記のスケジュールで作業を進めました。

投稿先：介護保険課まつどDE介護ちゃんねる

日付	作業内容
4月14日	「まつどの介護」プロモーション事業 松戸向陽高等学校コラボレーション開始への打ち合わせ
4月27日	動画制作担当者打ち合わせ ZOOM : ボランティア4人
4月27日	オープニング動画制作 : ボランティア2名
5月8日	松戸向陽高等学校ボランティア説明会 *参加 10名

5月9日	動画制作打ち合わせ ZOOM
5月23日	オープニング動画制作② : ボランティア2名
5月27日	訪問看護・介護制作打合せ: ボランティア3名
6月12日	訪問リハビリテーション動画制作打合せ: ボランティア2名
6月24日	訪問看護・介護動画撮影 *訪問看護サボテン六高台 ケア思いやり ボランティア 3名
6月30日~7月30日	動画制作・編集期間 *総編集時間(10H) 訪問看護・介護動画
7月12日	ナレーション撮り・打合せ(訪問リハ) ボランティア2名
7月22日	訪問リハビリテーション撮影 *けやきトータルクリニック ボランティア3名
7月28日	編集打合せ ボランティア2名
7月28日~8月30日	動画制作・編集期間 *総編集時間(15H) 訪問リハビリ動画
8月14日	認知症デイサービス制作打合せ ボランティア3名
8月15日	認知症デイサービス撮影
8月19日	認知症デイサービス撮影 ボランティア3名
8月28日~9月30日	動画制作・編集期間 *総編集時間(20H) 認知症デイサービス
9月6日	動画制作打合せ ボランティア2名
9月7日	介護職員等永年勤続表彰動画撮影 ボランティア2名
9月26日	介護職員等永年勤続表彰動画撮影 (松峰苑、松寿園) ボランティア2名
9月27日~10月15日	動画制作・編集期間 *総編集時間(20H) 介護職員表彰動画
11月6日~10日	「ゆうまつどフェスタ」にて事業周知
11月11日	広報まつど介護保険特集号を発行 松戸市特別養護老人ホーム連絡協議会「介護 FESTAin まつど」 にて事業周知
11月13日	動画制作打合せ 特養紹介動画 ボランティア2名
11月21日	ハローワーク松戸主催「やっぱり福祉まるごとフェスタ」にて 事業周知
11月27日	○上映会の開催 ゲッドユアドリーム参加 新松戸南中学校 学生へ動画を紹介(30名)
11月28日	向陽高校打合せ 福祉用具動画 ボランティア2名
12月2日	福祉用具紹介動画撮影 ボランティア2名

12月14日	動画編集及び打合せ（特養紹介動画）ボランティア2名
12月18日	松戸市主催「介護職員入門的研修」にて事業周知
12月21日	動画編集及び打合せ（特養紹介動画）ボランティア2名
1月20日	松戸市介護サービス事業連合会主催（松戸市共催）「介護フェア」にて事業周知
1月22日	○上映会の開催 ゲッドユアドリーム参加 旭町中学校 学生へ動画を紹介（30名）
1月23日	向陽高校打合せ 特養動画、学校紹介動画 ボランティア4名
1月27日	特養紹介動画撮影 ボランティア2名
1月28日～2月29日	動画制作・編集期間 *総編集時間（15H）特養紹介動画
2月2日	○上映会の開催 ゲッドユアドリーム参加 小金南中学校 学生へ動画を紹介（30名）
2月16日	聖徳大学打合せ、向陽高校撮影 ボランティア2名
2月26日	聖徳大学、松山福祉専門学校撮影 ボランティア2名
2月28日	事業紹介ちらし郵送 松戸市内一般企業83社
3月1日～3月20日	動画制作・編集期間 *総編集時間（20H）学校紹介動画

(2) 事業内容のふりかえり

今年度の事業も昨年同様にスタートから新型コロナウイルス感染拡大による撮影制限がありました。撮影は松戸向陽高等学校の生徒さんらの協力もあり動画それぞれに特徴ある作品を作ることができました。

制作途中でスタッフの体調不良があり、予定していた動画作成数は達成できませんでしたが、1本1本を視聴者側が楽しんで見ていただけるような企画を入れた動画を制作してきました。

今年度も松戸市介護職員永年勤続表彰動画の制作も行わせていただいています。

それ以外に介護事業所による地域イベントや（認知症の方とつくる夏祭り）、松戸市の介護を学ぶことができる学校紹介の動画も制作しています。

介護制度の紹介以外にも、介護の仕事の魅力アップにつながるような活動も行わせていただきました。

事業活動費の使用に一部変更がありましたのでご報告させていただきます。

○編集用会場費については

レンタルスペースでの編集、打合せ等を予定していましたが、実際は当法人の事務所や無償でお借りする事ができたスペースにて活動をしてきました。そのため決算費用には計上しませんでした。

○事業紹介ちらしの郵送先について

昨年同様に松戸市内の一般企業様宛にチラシを郵送しています。
チラシを郵送した企業様はインターネット検索からランダムで選定。その結果、83社への郵送数となっています。

○消耗品費について

新型コロナが5類になったことで、感染対策用品は最低限で行うことが可能になりました。よって感染対策用品について追加で購入することはなかったため、計上していません。またスタンドライトについては購入する予定でしたが、機材レンタルをしている業者から無償でお借りする事ができましたので計上していません。

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

- ① 介護保険サービスを種別ごとに5～10分程度のPVとして作成
結果 本年度の動画制作数 7本
3年間の協働事業を通して、計23本（おおよそ30種別中13種別）の動画を作成することができました。
- ② それぞれの動画再生回数
目標 動画ごとに500回再生
結果 最大再生数動画 1.3万回 最小再生数動画 134回 平均再生数 560回
- ③ 介護を学ぶ学生及び動画制作に興味ある学生ボランティアの参画
目標 年間5～10名を募集
結果 学生ボランティア 延べ55名参加
千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科
- ④ 事業の普及啓発
松戸市広報紙（広報まつど介護保険特集号）への掲載（11月11日介護の日）
事業紹介のチラシ郵送 市内一般企業人事担当者宛 83件実施
松戸市が主催・共催する各種イベントでの周知
ハローワーク松戸で動画放映を引き続き実施
動画公開時に松戸市公式SNSへの掲載
完成したPVの上映会を開催 ゲッドユアドリームに参加
目標 1回 結果 3回 参加者延べ90名

(課題)

今年度も学生ボランティアとの活動は非常に上手く連携して実施できたと思います。打合せも行ってきましたが、動画の内容をもっと若者目線で楽しめる内容にする必要もあるため、企画の時間と内容、方法を改善すべきだと感じています。一番の課題としては、動画の再生数を伸ばす取組みです。動画制作の内容改善や当法人のインスタグラムでの紹介、市からの案内（ホームページを通じての動画紹介や松戸市の広報誌による紹介等）も行ってきましたが、再生数を大きく伸ばすことはできていません。視聴回数を伸ばすための戦略を検討しなければなりません。重要な課題です。

6 今後の事業展開

協働事業としての活動は終了となります。今後もこれまでの活動に協力いただける方々と手を取り、より松戸の介護を市民へわかりやすく、そして介護の仕事への魅力アップにも繋がるような動画づくりを目指していきたいと思えます。3年間ご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。担当課のご担当者の皆さまのお力添えに心よりお礼申し上げます。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 311,631	¥ 405,408	¥ ▲93,777	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 29,840	¥ 20,444	¥ 9,396	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 29,840	¥ 20,444	¥ 9,396	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 268,560	¥ 183,992	¥ 84,568	←精算額
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 298,400	¥ 204,436	¥ 93,964	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 70,000	¥ 68,480	¥ 1,520	動画編集ソフト（ライセンス料） 8,480円×1回 撮影機材カメラ（リース料） 5,000円×12回
	食糧費	¥ 40,000	¥ 16,973	¥ 23,027	ボランティアのお茶代・菓子代（撮影・編集時等）
	消耗品費	¥ 61,400	¥ 20,994	¥ 40,406	USBメモリー 5,880円 スケッチボード 9,190円 等
	印刷製本費	¥ 6,000	¥ 5,178	¥ 822	動画チラシ（1000枚） 5,178円
	通信運搬費	¥ 86,000	¥ 57,811	¥ 28,189	編集用Wi-Fi（11カ月） 50,839円（11カ月） 郵便 6,972円（83件）
	委託料	¥ 35,000	¥ 35,000	¥ 0	チラシデザイン料 35000円
				¥ 0	
		対象経費の合計 (E)	¥ 298,400	¥ 204,436	¥ 93,964
（その他） 経費					
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 298,400	¥ 204,436	¥ 93,964	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 84,568
------------	----------

収支内訳書

【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 20,444	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 20,444	
市	松戸市負担金	¥ 183,992	
	合 計 額	¥ 204,436	

【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	使用料および賃借料	¥ 68,480	動画編集ソフト（ライセンス料）及び撮影機材リース料 編集ソフト「パワーディレクター」年間使用料 8,480円 カメラリース 5,000×12ヶ月
	消耗品費	¥ 20,994	プレゼンホルダー 877円 封筒 272円 USBメモリ 5,880円×1個 スケッチブック 919円×10個 ボランティアお茶菓子提供用 紙コップ、紙皿等（7/28 1,406円、11/13 1,473円、2/26 1,896円）
	食糧費	¥ 16,973	撮影時のお茶・菓子代（ボランティア用） 延べ 55名分
	印刷製本費	¥ 5,178	広報用チラシ印刷代 「まつどの介護」プロモーション案内チラシの印刷代 A4サイズ 1000部 5,178円
	通信運搬費	¥ 57,811	事業案内チラシ郵送 84円×83社（一般企業宛て） インターネット利用料 7ヶ月分×4,621円、4ヶ月分×4,623円
	委託料	¥ 35,000	「まつどの介護」プロモーション事業チラシデザイン 35,000円
		対象経費の合計	¥ 204,436
その他 経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合 計 額	¥ 204,436	

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	会議・打合せ（15回）	44,280円	3人×1h×15回×984円
	撮影	118,080円	3人×4h×10回×984円
	編集	236,160円	2人×15h×8回×984円
	ボランティア説明会	984円	1人×1h×1回×984円
	動画紹介（中学校）	5,904円	1人×2h×3回×984円
	合 計（A）	405,408円	

まつど de SDG s の輪を広げようプロジェクト事業

まつど地域活躍塾つながりの会

政策推進課 市政総合研究室

活動状況報告書

1 事業名称 まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業

2 実施主体

■団体名： まつど地域活躍塾つながりの会

従事者数： 41名

団体概要： 2017年松戸市で開催した「まつど地域活躍塾」の修了生有志によって2019年に立ち上がった団体で、活躍塾の目標を実現するため、修了生の地域での活動・活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的としている。2019年4月からはSDGs推進メンバーが中心となり、松戸市民がSDGsにより関心を持ち、個々の行動につながることを目指した普及啓発活動も展開している。

■事業担当課： 松戸市 総合政策部 政策推進課 市政総合研究室

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

各事業の主催：企画立案、広報、応募者・参加者等との連絡・調整・取り纏め

■担当課の役割

各事業の側面支援：主催事業への助言・期日管理、広報支援（市HP、広報誌掲載）、イベントへの参加及び講師等の紹介

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①SDGs 情報発信の拡大（松戸版 SDGs 活動事例集の作成）【事例掲載数 12 件】

日 付	作 業 内 容
4月21日	市×団体打合せ（年度スケジュールと役割分担の共有）
5月10日	市×団体打合せ（構成、募集方法、スケジュールの決定）
～	構成、募集要項・フォーマットの原案作成
6月19日	市×団体打合せ（構成、募集要項・フォーマット案の共有）
～	構成、募集要項・フォーマットの調整
7月21日	市×団体打合せ（構成、募集要項・フォーマットの決定）
～	募集フォーマット・チラシの作成
8月21日	市×団体打合せ（事例募集内容の最終確認）
～	募集広報開始【9月30日】（チラシ1,000枚、WEB広報開始）

9月22日	市×団体打合せ（募集状況の確認、募集期間延長の決定）
～	募集期間延長【〆10月15日】、 ネットワーク団体や関係先への応募呼びかけの実施
10月15日	募集期間〆切
10月20日	市×団体打合せ（募集状況の確認、未提出先の確認※） ※団体へ応募連絡が合った先で未提出の先
～	未提出先への事例集作成の支援等
11月17日	市×団体打合せ（未提出先への対応状況、スケジュール確認）
～3月	とりまとめ、内容調整等

②SDGsの地域学習会の促進（SDGs地域学習会の実施）【全4回※1回悪天候で中止】

※事業計画上の「ネットワーク団体との会合」を兼ねて開催。

※第5回は「③松戸版SDGsアクション・プランコンテスト」に兼ねて開催。

事業内容は「③」にて記載。

日付	作業内容
4月21日	市×団体打合せ（年度スケジュールと役割分担の共有）
6月19日	市×団体打合せ（第1回開催内容）
～	第1回会場確保、対象先（ネットワーク団体）への参加声掛け
7月21日	市×団体打合せ（第1回開催内容の決定）
～	SDGs地域相談室チラシ作成（学習会開催希望市民・団体への募集：市民へは市の40箇所の施設にチラシを配置して周知） 第2回開催準備（松戸市消費生活展のパネル作成等）
8月19日	★第1回SDGs地域学習会 開催 ・4時～16時 まつど市民活動サポートセンター第2会議室 ・内容：①まつど地域活躍塾つながりの会のSDGsの取り組み紹介 ②松戸市「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」 ・参加者：11名
8月21日	市×団体打合せ（第2回開催内容、準備進捗の確認）
～	第2回開催準備（松戸市消費生活展への出展準備） SDGs地域相談室の周知開始（チラシ3,000枚・市施設40か所）
9月22日	市×団体打合せ（第2回開催内容の確認）
10月7・8日	★第2回SDGs地域学習会 開催（松戸市消費生活展） ・10時～15時 KITEMITEMATSUDO 9F アートスポットまつど ・内容：「SDGsにエシカルの視点を」をテーマとしたパネル展示を作成してSDGsの普及啓発活動を実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸消費生活展来場者：1日目 194名 2日目 373名(2日間計567名)
10月20日	市×団体打合せ（第3回開催内容）
～	第3回会場確保、ネットワーク団体等への参加声掛け
11月17日	市×団体打合せ（第3回開催最終確認、第4回開催内容）
～	第4回対象団体（開催希望団体）との開催調整
12月15日	<p>★第3回SDGs地域学習会 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13時～14時30分 まつど市民活動サポートセンター第2会議室 ・内容：①自治体SDGsモデル事業について（松戸市）、常盤平団地エリアの大学生によるSDGsの取組み紹介（学生） ②SDGsの取組み紹介（団体） ・参加：10名
1月19日	第4回SDGs地域学習会 開催中止決定（開催予定日1月21日の天候について降雪予報があったため）
2月25日	第5回SDGs地域学習会を兼ねた開催

③SDGs 行動意識の向上（松戸版SDGsアクション・プランコンテストの実施）【1回】

日付	作業内容
4月21日	市×団体打合せ（年度スケジュールと役割分担の共有）
～	会場確保、開催日の決定（2月25日）
10月20日	市×団体打合せ（内容、審査基準、審査員選定等の意見交換）
～	内容の検討、審査基準の原案作成、審査員候補への出席打診
11月17日	市×団体打合せ（募集要項・審査基準等共有、審査員候補決定）
～	募集要項・審査基準の調整、審査員候補の絞り込み
12月25日	市×団体打合せ（募集要項・審査基準、審査員決定）
～	チラシ・WEB申込フォームの作成、審査員の選定・依頼
1月19日	市×団体打合せ（チラシ・応募フォーム確認、当日進行の意見交換）
～	募集広報開始（チラシ2,000枚・市施設40か所、WEB）、賞品選定
2月9日	市×団体打合せ（募集状況確認、賞品確認、当日進行の確認）
～	当日準備（団体プレゼン資料とりまとめ）、審査員へ書類審査案内、会場掲出物準備
2月25日	<p>★松戸 de SDGs アクションプラン・コンテスト 実施</p> <p>※第5回SDGs地域学習会を兼ねた開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13時～16時 まつど市民活動サポートセンター多目的ホール ・発表：5団体（内1先民間企業） ・参加者：18名
～3月上旬	審査員への謝金支払い等

(2) 事業内容のふりかえり

本事業は、市と協働しながら松戸市の市民社会における SDGs への理解を図るため、事業計画に従い「①SDGs 情報発信の拡大(松戸版 SDGs 事例集の作成)」、「②SDGs の地域学習の促進 (SDGs 地域学習会の実施)」、「③SDGs 行動意識の向上(松戸 de SDGs アクションプランコンテストの実施)」の3事業について、すべて実施することができた。なお、会場の予約は、会場を確実に確保して実施できるように、市の方に予約をしてもらった。そのため、会場使用料の支出は少なくなった。

【各事業における特記事項】

①SDGs 情報発信の拡大(松戸版 SDGs 事例集の作成)

- ・計画上の6月から募集開始、9月のWEBサイト公開より、スケジュールが後ろ倒しとなったが、協働事業の利点を活かし、市と打合せを重ね、募集内容や構成等をしっかりと詰めた上で進めることができた。
- ・広報についても、市HPでの応募フォーム・書式の掲載により、一般市民に向け広く広報ができたことに加え、応募検討団体に対し市HPでの案内が可能となったことで、従来までの取組みと比べ、応募者の手続きへのアクセスが向上した。
- ・事例集については、当初印刷による配布を検討していたが、団体にてWEB媒体による公開へ変更することにより、ペーパーレス化による環境を配慮した取組みとした。
- ・SDGs 事例集の募集は、目標の20件に近づけるため、数回、募集期間を延長したこと等により時間を要した。そのため、今年度は取りまとめだけに留まり、ウェブサイトへの掲載までには至らなかった。また、事例集ウェブサイト構築の費用は発生しなかった。

②SDGs の地域学習の促進 (SDGs 地域学習会の実施)

- ・全4回について、ネットワーク団体に参加の呼び掛けを行い、ネットワーク団体会合(意見交換会)を兼ねた取組みとして実施できた。
- ・団体との意見交換では、SDGs 学習会による普及啓発の進め方、SDGs 事例集の内容や活用方法、SDGs ネットワーク団体としての関わり方等について議論を行った。
- ・第2回については、例年どおり多くの市民が来場する松戸市消費生活展への出展にて実施することで、より多くの市民に消費生活の視点から啓発活動を行った。
- ・「松戸 de SDGs アクションプラン・コンテスト」での学習会では、団体の取組みの紹介や市のSDGs 推進事業の説明も内容に加えることで、同イベントに兼ねて実施した。
- ・市と協働することで、市の事業に携わる大学生等の若者による取組みの紹介や出席者との意見交換も実現した。
- ・学習会で使用を予定していた松戸市民向けのSDGs教材(冊子本)については、時間的制約があり開発できなかった。

- ・地域学習は地域社会の中でSDGsの周知を促進していくものと位置づけたため、外部講師は依頼しなかった。

③SDGs 行動意識の向上 (SDGs アクション・プランコンテストの開催)

- ・計画上のスケジュールより募集開始時期が遅れたものの、審査基準等について市と意見交換することで、ブラッシュアップが図られ、応募内容を明確化した上で募集をかけることができた。
- ・市HPやペライチにて募集の周知を行うことで、民間企業からの自主的な応募があった。
- ・審査員として市のSDGs推進事業に携わる大学生にも参加いただき、若者の視点からも応募内容について意見・評価することができた。

5 事業成果について

- ・目標の達成と課題の解決について

①SDGs 情報発信の拡大 (松戸版 SDGs 事例集の作成)

- ・目標：20活動(事例)以上の事例集掲載 → 実績：12活動(事例) [目標比▲8件]
- ・効果的な事例募集活動ができず、目標達成率は60%に留まることとなったが、市HPでの広報等により当初主に想定していた市民団体や自治会の他、学生団体や民間企業等からも応募があり、多様な主体のバラエティに富んだ分野の活動を掲載することができた。
- ・公開スケジュールが大幅に遅れたことで、情報発信の面では「普及啓発の基盤づくり」フェーズに留まったものの、応募者とのコミュニケーションを重ね、それぞれの事例についての内容を取りまとめることができた。

②SDGs の地域学習の促進 (SDGs 地域学習会の実施)

- ・目標：4回実施、参加者合計80人(20人程度/回) → 実績：4回実施、参加者合計606人(1回11~567人) [目標比+0件、526人]
- ・事業開始から積極的に企画し、全5回(うち1回は悪天候により中止)の実施を企画したことにより、目標としていた回数の実施ができた。
- ・松戸市消費生活展内での実施により、多くの市民の方々に消費生活の分野を通じた普及啓発を行うことができただけでなく、参加者との会話を通して様々な市民の方からの考えや意見を聞くことができた。
- ・市のSDGs推進事業に携わる学生に講師として参加いただき、市やわかもの取組みについても市民や市民活動団体の方々と共有することで、幅広い年齢層や活動分野の方々の間で理解を深めることができたことに加え、連携に広がりがあった。

③SDGs 行動意識の向上 (松戸 de SDGs アクションプラン・コンテストの実施)

- ・目標：実施1回、応募件数20件以上 →

実績：実施1回、応募件数5件〔目標比±0回、▲15件〕

- ・募集期間が短くなってしまったことや、効果的な周知活動ができたことから応募件数は5件(応募後の取下げ1件を含めると6件)に留まったものの、市HPでの募集周知の効果もあり、民間企業からの応募もあるなど、少ない募集件数の中でも様々なテーマの取組みを共有ができたことで、ローカルSDGsの行動意識を高めていくことにつなげた。
- ・審査員には、松戸市出身の他自治体でもまちづくりに携わる方、消費生活の専門家、大学生と様々な年齢・立場の方からの視点で全てのプランについて講評が行われ、ひとつのプランに対して参加者が多角的に理解することができる内容となった。

6 今後の事業展開

今年度の取組みの最大の課題として、イベント参加者の伸び悩みについて「効果的な募集周知」が挙げられる。一方で、目標として多くの応募を設定したものの、事例集やアクションプランコンテストのように「量より質」が重要であることに気づかされた点については大きな収穫となったことを踏まえ、「市民活動や地域社会での取組みを「見える化」し、市民レベルで地域活動の活性化へつなげていく」ことについて、以下の事業展開にて引き続き推進していきたい。

- ① 市内のSDGs事例集の内容を共有する発表会・意見交換の実施【目標：開催回数2回】
 - ・今年度作成した事例集を活用し、事例団体による講演や参加者との意見交換会を実施することで、市民活動におけるSDGs推進を広げる。
 - ・意見交換等を進める中で新たな事例を発掘し、事例集の増強改訂を行う等、既存の取組みのアップデートを図っていく。
 - ・発表会では、SDGs事例集等から6事例集以上の発表を目指す。
- ② SDGs地域学習会の実施【目標：開催回数2回、参加人数合計40人（各回20人程度）】
 - ・引き続きネットワーク団体会合を兼ねた開催を含め、既存連携先と新たな参加者が集い、「つながり」が生まれるような形での実施を行っていく。
- ③ フォーラムの開催【目標：1回開催、参加人数50人以上】
 - ・①、②の集大成として、様々な活動団体が集い、それぞれの活動を市民へ発信していく場として開催し、SDGsを切り口とした市民活動の活性化が図られる企画とする。
- ④ SDGsネットワーク団体網の強化【現19団体より3団体増（22団体）】
 - ・①～③の活動において、既存団体への声掛けに加え、今年度新たに連携を行った先やそこからの紹介等でネットワークを広げ、取組みの一層の促進・拡大を目指す。

収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 293,524	¥ 303,072	¥ ▲9,548	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 19,149	¥ 9,140	¥ 10,009	事業費の一部を団体の会計より拠出
	SDGsの地域学習会（参加費）	¥ 40,000	¥ 0	¥ 40,000	500円×20人×4回
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 59,149	¥ 9,140	¥ 50,009	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 319,041	¥ 82,260	¥ 236,781	← 精算額
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 378,190	¥ 91,400	¥ 286,790	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 90,000	¥ 50,000	¥ 40,000	外部講師謝礼 20,000円× 2名 10,000円×1名
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 8,966	¥ 1,034	SDGsアクションプランコンテスト景品代 3点 2,200円 +2,750円+2,970円 コンテスト文房具代 1,046円
	印刷製本費	¥ 195,000	¥ 26,000	¥ 169,000	印刷資料代 600円 3,800円 320円 SDGsチラシA4サイズ 3,000部 7,890円 SDGs事例集チラシ印刷代 1,000部 5,530円 アクションプランコンテストチラシ2,000部 7,860円
	委託料	¥ 20,000	¥ 5,000	¥ 15,000	SDGsアクションプラン企画コンテストのチラシデザイン5,000円
	食糧費	¥ 1,950	¥ 0	¥ 1,950	地域学習会（外部講師）飲料代150円×2人×4 アクションプランコン テスト審査員への飲料代150円×5人
	使用料及び賃借料	¥ 30,140	¥ 440	¥ 29,700	220×2時間 440円 SDGs学習会 開催
	通信運搬費	¥ 7,400	¥ 994	¥ 6,406	景品郵送代 490円（レターパック370円 切手120円） 切手84円×6枚
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 354,490	¥ 91,400	¥ 263,090	
（その他 対象） 経費	交通費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
	通信運搬費	¥ 3,700	¥ 0	¥ 3,700	
	チラシデザイン	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 23,700	¥ 0	¥ 23,700	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 378,190	¥ 91,400	¥ 286,790	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 236,781
------------	-----------

収支内訳書

【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 9,140	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 9,140	
市	松戸市負担金	¥ 82,260	
	合計額	¥ 91,400	

【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	講師謝礼 アクションプランコンテスト審査員 3名分 影山貴大 20,000円×1回 古谷由紀子 20,000円×1回 鈴木結理 10,000円×1回
	印刷製本費	¥ 26,000	・SDGs学習会・ネットワーク会議資料印刷代 600円 ・SDGs学習会チラシ印刷A4サイズ 3,000部 7,890円 ・SDGs学習会 事例集チラシA4サイズ 1,000部 5,530円 ・コンテストチラシA4サイズ2,000部 7,860円 ・SDGs アクションプランコンテスト資料印刷代 3,800円 ・SDGsアクションプランコンテスト資料印刷代 320円
	消耗品費	¥ 8,966	アクションプランコンテスト景品代 3点 ①るるぶSDGsすごろくゲーム 2,200円×1 ②お笑い芸人と学ぶSDGs ババぬきカードゲーム 2,750円×1③SDGs M Y G O A L -SDGsを楽しく学べるカードゲーム!- 2,970円×1 SDGsアクションプランコンテスト文房具代 1,046円
	使用料及び賃借料	¥ 440	まつど市民活動サポートセンター使用料 第二会議室 220×2時間 440円 SDGs学習会 開催
	通信運搬費	¥ 994	SDGsアクションプランコンテスト景品郵送代 (まつどゼロウェイスト、あおぞら保険サービス株式会社) 490円 資料郵送切手代 84円×6枚 504円
	委託料	¥ 5,000	SDGsアクションプランコンテスト応募チラシデザイン
		対象経費の合計	¥ 91,400
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合計額	¥ 91,400	

労力換算計算書

(単位：円)

	項目	換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	①SDGs情報発信の拡大 打合せ	23,616 円	4 人 × 2 h × 3 回 × 984 円
	SDGs活動事例集の整理・編集・作成	39,360 円	2 人 × 2 h × 10 回 × 984 円
	②SDGsの地域学習の促進 打合せ	15,744 円	4 人 × 1 h × 4 回 × 984 円
	SDGsの地域学習会の準備	15,744 円	4 人 × 1 h × 4 回 × 984 円
	SDGsの地域学習会の実施	110,208 円	4 人 × 7 h × 4 回 × 984 円
	SDGsの地域学習会の事後処理	15,744 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 984 円
	③SDGs行動意識の向上 打合せ	23,616 円	4 人 × 2 h × 3 回 × 984 円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コン テストの準備	23,616 円	4 人 × 3 h × 2 回 × 984 円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コン テストの実施	27,552 円	4 人 × 7 h × 1 回 × 984 円
	松戸版SDGsアクション・プラン企画コン テストの事後処理	7,872 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
合 計 (A)	303,072 円		